

## 2012 年度 研究所・センター事業報告書

研究所・センター名	アート・リサーチセンター
研究所・センター長名	矢野 桂司

### I. 研究実績の概要（公開項目）

本欄には、研究所・センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、研究所総合計画(5 ヵ年)および2012 年度重点プロジェクト申請調書に記載した内容に照らし、項目立てなどをおこないできるだけわかりやすく記述してください。なお本欄は、研究所・センターの総括として使用いただき、プロジェクトごとの詳細な実績報告は、別紙「重点プロジェクト実績報告書様式」(非公開)に記述のうえ提出ください。

本年度、アート・リサーチセンターは、今後のセンターの活動方針の柱となるものとして以下の 3 プロジェクトを選定し集中的に取り組んだ。この 3 プロジェクトは研究所総合計画(5 ヵ年)で集中的に重点化する研究分野やプロジェクトとして挙げているものに該当し、また、本センターを受け皿とした文部科学省グローバル COE プログラム「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」(立命館大学:2007-2011 年度)での学術研究・教育の後継・発展的展開を企図し選定したものである。それぞれが学際的かつ有機的に連携し、本センターの研究活動を発展させるとともに国際化を推進した。以下、本年度の研究実績の概要について重点プロジェクトごとに記述する。

#### **プロジェクト No.1: デジタル・ミュージアム研究開発プロジェクト**

プロジェクトNo.1 は、萌芽的なプロジェクトという意味で選定した。これまでの文理連携の理念を実現すべく、本センターが構築してきた様々なデジタル・コンテンツやデジタル技術を活用して、国内外の博物館・美術館との連携を模索しようとするものである。具体的には、以下 3 点に重点的に取り組んだ。(1)現在の祇園祭に関連するデジタル・アーカイブ(船鉦の撮影や囃子方の演奏の収録、7 月 13 日の曳き初め、7 月 17 日の巡行時における船鉦の振動や映像の計測)及び大船鉦の復興支援として大船鉦のCG作成と後祭の通り景観の復原を行った。(2)祇園祭船鉦の鉦町である船鉦町の中心に位置する長江家の住宅や所蔵品のデジタル・アーカイブを進めた。これら申請時に計画した取り組みのほか、2012 年度に文部科学省の「デジタル・ミュージアム」プロジェクトが終了することを受け、今後の展開として産官学連携を強化し、(3)光の当て具合による画像の再生と高精細デジタル画像による風俗画研究を凸版印刷株式会社と共同で進めた。

#### **プロジェクト No.2: ホワイトスペースを活用した文化コンテンツの放送 -通信連携型ハイブリッド・プラットフォーム**

プロジェクトNo.2 は、先端的プロジェクトという意味で選定した。総務省「ホワイトスペース特区」(2011-2012 年度)の最終年度として、本年度は以下を到達目標として掲げ実施した。(1)本研究プロジェクトの基盤となるエリアワンセグ放送網の安定性を検証した。具体的には、コンテンツ制作→オーサリング→編成→送出のパターン化・半自動化及びUstream/Skypeなどとの連動について検証項目を設定し、放送インフラの整備及び安定化の達成を確認した。(2)本センターの研究から高い文脈性を有する文化的情報の視聴効果を検証するための映像制作実験の対象を選定し、ワンセグ放送用コンテンツを制作、配信することを目標として設定した。具体的には、実証用コンテンツver.1 として「京都型友禅バーチャルミュージアム」及び実展示企画「近代友禅デザインの仮想と現実—デザイン原画とデジタルミュージアム—」を選定し、実験を行った。(3)「東日本大震災に関する研究推進プログラム」のワンセグの防災応用研究と連動しつつ、歴史都市防災研究センター(当時)のアドバイスを得て、非常時において、骨折、出血の応急処置の方法を伝える「エリアワンセグ放送映像(オリジナル制作)」の有効性を実証した。

#### **プロジェクト No.3: 表象研究におけるデジタル資源活用のための応用手法開発**

プロジェクトNo.3 は、潜在力掘り起し型プロジェクトという意味で選定した。イメージ・データベースという学術的武器をフルに活用できる潜在的人材を掘り起し、大量のデジタル文化資源を有効に活用していくための応用研究である。以下のように多面的に取り組んだ。(1)定期的な研究会を実施、(2)海外博物館への若手研究者のインターン型派遣とデジタルアーカイブのさらなる推進、(3)若手研究者派遣の開拓と調査、(4)若手研究者らのデジタル技術活用のインフラ整備とシステム開発支援、(5)若手研究者が開発・構築するイメージDBのコンテンツ作成支援、(6)デジタル資源活用事例の蓄積。学部・大学院講義での資源活用、等。海外受入れ博物館は、本年度だけで、10 ヶ国 27 箇所にとんだ。

## II. 研究業績（公開項目）

### 1) 論文発表

#### ①論文（査読あり）

##### 雑誌論文

1. 荒川昭治, 片桐信, 西野智研, 大窪健之「木造住宅地域を地震時火災から守る Water Shield System に関する基礎的研究—京都市清水寺周辺地域の配水システムの研究—」地域安全学会論文集, 地域安全学会, No. 17, 8p., 2012年7月
2. 大東良輔, 大窪健之, 林倫子, 西山翔「住民による文化財防災に向けた日常活動と防火活動に関する追跡調査—京都市文化財市民レスキュー体制を対象として—」歴史都市防災論文集, 立命館大学歴史都市防災研究センター, vol. 6, pp. 185-192, 2012年7月7日
3. 金子貴昭「藤井文政堂所蔵 享保十七年版『十巻章』の板木—袋綴じと粘葉装—」論究日本文学, 立命館大学日本文学会, 97, pp. 1-20, 2012年12月
4. 桐村喬「居住地域構造との関係からみた東京 23 区における国籍別外国人集住地区の社会経済的特徴」人文地理, 人文地理学会, 65(1), pp. 29-46, 2013年2月
5. 久山岳夫, Biligsaikhan Batjargal, 木村文則, 前田亮「動的リンク生成による浮世絵データベース間の多言語統合アクセス手法の提案」人文科学とコンピュータシンポジウム論文集, 情報処理学会, pp. 231-238, 2012年11月17日
6. 小出治都子・斎藤進也・稲葉光行「化粧文化の様相 —コンピュータによる化粧品雑誌広告の可視化と分析—」アート・リサーチ, 立命館大学アート・リサーチセンター, vol. 13, pp. 17-36, 2013年3月
7. 佐野賢治, 高橋学, 西和夫「残されし災害の記録に学ぶ」建築雑誌, 日本建築学会, 4, pp. 8-12, 2012年4月20日
8. 周東正高, 赤羽克仁, 脇田航, 田中弘美, 佐藤誠「技巧的操作が可能なハプティックインタフェースの提案」第 17 回 日本バーチャルリアリティ学会大会論文集, 日本バーチャルリアリティ学会, 12D-6, 2012年9月瀬戸寿一, 矢野桂司「市民参加型調査による『良好な通り景観』の選定とその要因分析」地理学評論, 日本地理学会, 85(3), pp. 259-274, 2012
9. 瀬戸寿一, 村中亮夫, 谷端郷, 中谷友樹「Web マップを用いた防災・安全情報の活用可能性—亀岡市篠町における住民参加型ワークショップを通じた検討—」地学雑誌, 東京地学協会, 121(6), pp. 946-961, 2013年1月7日
10. 蘇沛琪, 邱上嘉, 大窪健, 'ON THE TREAD OF TRADITIONAL CARPENTERS FROM JAPAN DURING JAPANESE COLONIAL PERIOD IN CHIAYI CITY(日治時期の台湾における伝日本統大工職人の系譜に関する研究)', 日本建築学会計画系論文集, 日本建築学会, vol. 679, pp. 2271-2283, 2012年9月
11. 高橋学「環境史からみた東北地方太平洋沖地震の津波被害」土木史研究, 公益社団法人土木学会, 32, pp. 9-11, 2012年6月16日
12. 高松正彦, 大窪健之「歴史的風致保全と市街地防火に資する民有緑地保全のための我が国の制度活用指針に関する考察」歴史都市防災論文集, 立命館大学歴史都市防災研究センター, vol. 6, pp. 23-30, 2012年7月7日
13. 塚本章宏, 中村琢巳, 谷端郷, 赤石直美, 麻生将, 崎田芳晴, 長尾泰源, 股座真実子, 片平博文, 吉越昭久「近世京都における大火被災域の時空間復原」歴史都市防災論文集, 立命館大学歴史都市防災研究センター, vol. 6, pp. 17-22, 2012年7月
14. 富田美香「戦前小型映画誌 Movie Makers にみるアメリカの日本イメージ」アート・リサーチ, 立命館大学アート・リサーチセンター, vol. 13, pp. 37-48, 2013年3月31日
15. 埴淵知哉, 中谷友樹, 村中亮夫, 花岡和聖「社会調査における回収率の地域差とその規定要因—個人および地域特性を考慮したマルチレベル分析—」地理学評論, 日本地理学会, 85 巻, 5 号, 447-467, 2012年9月
16. 埴淵知哉, 中谷友樹, 村中亮夫, 花岡和聖「都市化・郊外化の度合いと社会関係資本の関連性に関するマ

- ルチレベル分析」地理科学, 地理科学学会, 67 卷, 2 号, pp. 71-84, 2012 年 7 月
17. 林倫子, 山崎可生里, 大窪健之「東日本大震災における社寺の避難所運営体制—宮城県広域石巻圏を対象として—」歴史都市防災論文集, 立命館大学歴史都市防災研究センター, vol. 6, pp. 149-156, 2012 年 7 月 7 日
  18. 前田耕作, 細井浩一「1970 年代における米国映画産業復活の諸要因に関する一考察: パラマウント同意判決と TV 放送による影響の検証を中心として」立命館映像学, 立命館大学映像学会, No. 5, pp. 63-85, 2012 年 6 月
  19. 増田哲朗, 山崎綾哉, 桑幸生, 村山智美, 深井寛修, 徐剛, 國枝義敏「フィールドスポーツにおける同期多カメラを用いた全選手の実時間位置測定システム」動画像処理後実利用化ワークショップ 2013 (DIA2013), 精密工学会, pp. 25-26, 2013 年 3 月 8 日
  20. 前崎信也「明治期における清国向け日本陶磁器 (1)」デザイン理論, 意匠学会, 60, pp. 75-87, 2012 年 5 月
  21. 前崎信也「焼かなければ生み出しえない美について—深見陶治の陶芸—」陶説, 日本陶磁協会, 714, pp. 24-30, 2012 年 9 月
  22. 前崎信也「バーナード・リーチの窯を建てた男 —松林靄之助の英国留学 (1)」民藝, 日本民藝協会, 717, pp. 49-54, 2012 年 9 月
  23. 前崎信也「バーナード・リーチの窯を建てた男 —松林靄之助の英国留学 (2)」民藝, 日本民藝協会, 718, pp. 53-59, 2012 年 10 月
  24. 前崎信也「バーナード・リーチの窯を建てた男 —松林靄之助の英国留学 (3)」民藝, 日本民藝協会, 719, pp. 51-58, 2012 年 11 月
  25. 前崎信也「バーナード・リーチの窯を建てた男 —松林靄之助の英国留学 (4)」民藝, 日本民藝協会, 720, pp. 46-54, 2012 年 12 月
  26. 松葉涼子「『弥作の鎌腹』初出年時の再検討」歌舞伎学会編『歌舞伎研究と批評』雄山閣出版, 48, pp. 71-88, 2012 年 12 月
  27. 松葉涼子「近世画像資料にみる門破り図像の受容と展開」立命館文学, 629, pp. 189-201, 2013 年 3 月 20 日
  28. 村中亮夫, 中谷友樹「潜在的な観光客の仮想行動に着目した歴史的景観の保全による観光需要の地理的変動—京都市における事例分析—」経済地理学年報, 58 卷, 4 号, pp. 336-356, 2012 年 12 月
  29. 村中亮夫, 瀬戸寿一, 谷端郷, 中谷友樹「Web 版安全安心マップの活用意思とその規定要因—利用者評価による分析—」地理学評論, 日本地理学会, 85 (5), pp. 492-507, 2012
  30. 森下雄治, 山崎正史, 大窪健之「江戸の主要防火政策に関する研究—明暦大火後から享保期までを対象として」都市計画論文集, 日本都市計画学会, pp. 721-726, 2012 年 10 月
  31. 矢野桂司「イギリスの地理学」地学雑誌, 東京地学協会, 121-4, pp. 586-600, 3 September 2012
  32. 和佐田陵亮, 田原大二郎, 大窪健之, 金度源「住民組織の連携を活かした大規模災害対策と防災活動指針の提案—与謝野町加悦重要伝統的建造物群保存地区における防災訓練を通して—」歴史都市防災論文集, 立命館大学歴史都市防災研究センター, vol. 6, pp. 193-200, 2012 年 7 月 7 日
  33. 山本真紗子「戦前期の高島屋百選会の活動—百選会の成立とその顧問の役割」*Core Ethics*, 立命館大学大学院先端総合学術研究科, 9, pp. 233-243, 2013 年 3 月
  34. 脇田航, 小里篤史, 田中弘美「浮世絵の異方性反射特性の提示方式に関する検討」第 17 回 日本バーチャルリアリティ学会大会論文集, 日本バーチャルリアリティ学会, 31E-4, 2012 年 9 月
  35. 脇田航, 赤羽克人, 一色正晴, 田中弘美「大型立体的織物文化財の没入型 VR 展示システム」第 17 回 日本バーチャルリアリティ学会大会論文集, 日本バーチャルリアリティ学会, 31E-5, 2012 年 9 月
  36. Wignyo Adiyoso and Hidehiko Kanegae, 'The effect of different disaster education programs on tsunami preparedness among schoolchildren in Aceh, Indonesia', *Disaster Mitigation of Cultural Heritage and Historic Cities*, Vol. 6, pp. 165-172, 7 July 2012

37. Yuhei Ando, Ruck Thawonmas, and Frank Rinaldo, 'Level of Interest in Observed Exhibits in Metaverse Museums' , *Proceedings of the Innovations in Information and Communication Science and Technology IICST 2012*, Second Postgraduate Consortium International Workshop, pp. 62–66, 10–13 September 2012
38. Dimitris Ballas, Malcolm Campbell, Graham Clarke, Kazumasa Hanaoka, Tomoki Nakaya, and Paul Waley, 'A spatial microsimulation approach to small area income estimation in Britain and Japan' , *Studies in Regional Science*, JSRSAI, 42–1, pp.163–187, 2012
39. Biligsaikhan Batjargal, Garmaabazar Khaltarkhuu, Fuminori Kimura, and Akira Maeda, 'Developing a Digital Library of Historical Records in Traditional Mongolian Script' , *International Journal of Digital Library Systems*, Vol. 3, No. 1, pp. 33–52, June 2012
40. Monika Bincsik, 'Japanese Art as Ethnographic or Decorative Art: the 1868–1869 Austro-Hungarian East Asia Expedition and Collecting Japanese Art in Vienna and Budapest' , *Art of Japan – Japonisms and Polish-Japanese Art relations*, Krakow, Manggha Center for Japanese Art, pp.163–169, 2012
41. Monika Bincsik, 'William B. Sutherland' , *Britain & Japan: Biographical Portraits VIII*, GLOBAL ORIENTA L, pp.266–278, January 2013
42. James Cheshire, Paul A. Longley, Keiji Yano, and Tomoki Nakaya, 'Japanese Surname Regions' , *Papers in Regional Science*, 17p. , 13 Feburaury 2013
43. Worawat Choensawat, and Kozaburo Hachimura, 'Autonomous Dance Avatar for Generating Stylized Dance Motion from Simple Dance Notations' , *The Journal of the Institute of Image Electronics Engineers of Japan*, Vol.41, No.4. , pp.366–370, July 2012
44. Worawat Choensawat, Sachie Takahashi, Minako Nakamura, and Kozaburo Hachimura, 'Labanohtation: Laban meets Noh' , *ACM SIGGRAPH 2012*, 1p. (Poster), 5–9 August 2012
45. Woong Choi, Ren Takei, Sei Sato, N. Goto, Liang Li, and Kozaburo Hachimura, 'Development of aided drawing system for limb disability' , *VRSJ the 17th Annual Conference*, pp. 445–448, September 2012
46. Takahiro Fukumori, Takanobu Nishiura, and Yoichi Yamashita, 'Digital archive for Japanese intangible cultural heritage based on reproduction of high-fidelity sound field in Yamahoko parade of Gion festival' , *13th ACIS International Conference on Software Engineering, Artificial Intelligence, Networking and Parallel/Distributed Computing (SNPD 2012)*, International Association for Computer and Information Science (ACIS), pp. 549–554, 8 August 2012
47. Xinoying Guo, Chie Muraki Asano, Akira Asano, Takio Kurita, and Liang Li, 'Analysis of texture characteristics associated with visual complexity perception' , *Optical Review*, 19, 5, pp.306–314, 2012
48. Fuminori Kimura, Hiroshi Urae, Taro Tezuka, and Akira Maeda, 'Multilingual Translation Support for Web Pages Using Structural and Semantic Analysis' , *IAENG International Journal of Computer Science*, Vol.39, No.3, pp.276–285, August 2012
49. Takehiko Kitagawa, Susumu Nakata, Satoshi Tanaka and Kyoko Hasegawa, 'Transparent Visualization for Implicit Surface considered Texture' , *Proceedings of JSST2012 International Conference on Simulation Technology*, pp.92–94, 27–28 September 2012
50. Takehiko Kitagawa, Susumu Nakata, Satoshi Tanaka, Kyoko Hasegawa, 'Particle-Based Transparent Texture Mapping for Implicit Surfaces' , *Proceedings of Asia Simulation Conference 2012*, pp.406–411, 27–30 October 2012
51. Takuya Konishi, Fuminori Kimura, and Akira Maeda, 'Topic Model for User Reviews with Adaptive Windows' , *Proceedings of the 35th European Conference on Information Retrieval (ECIR2013)*, pp.730–733, 25 March 2013
52. Takeo Kuyama, Biligsaikhan Batjargal, Fuminori Kimura, and Akira Maeda, 'Integrated Multilingual Access to Diverse Japanese Humanities Digital Archives by Dynamically Linking Data' , *Conference*

*Abstracts of Digital Humanities 2012*, pp.473–476, 18 July 2012

53. Liang Li, Woong Choi, Kozaburo Hachimura, Takanobu Nishiura, and Keiji Yano, 'Presentation of Japanese cultural event using virtual reality', Jong-Il Park and Junmo Kim Eds., "*ACCV 2012 Workshops*", Part II, LNCS7729, pp.72–82, 5–9 November 2012
54. Liang Li, Woong Choi, Kozaburo Hachimura, Takanobu Nishiura, and Keiji Yano, "A virtual tour of gion festival yamahoko parade," *The 19th International Display Workshops (IDW2012)*, Kyoto, Japan, pp.1159–1162, December 2012
55. Liang Li, Woong Choi, Takanobu Nishiura, K. Yano, and Kozaburo Hachimura, "Virtual reproduction of gion festival yamahoko parade," *Digital Humanities 2012 (DH 2012)*, Hamburg, Germany, pp.480–483, July 2012 (poster)
56. Shinya Maezaki, 'Matsubayashi Tsurunosuke and the British Studio Pottery 1924–1928: Letters from Bernard Leach, Michael Gardew, Katharine Pleydel-Bouverie and Ada Mason', *Transactions of the English Ceramic Circle*, English Ceramic Circle, London, vol. 22, pp.117–148, July 2012
57. Shinya Maezaki, 'Matsubayashi Tsurunosuke (1894–1932): Potter and Ceramic Engineer', Hugh Cortazzi, ed., "*Britain and Japan: Biographical Portraits Volume VIII*", Global Oriental in association with Japan Society, UK, pp.312–23, 2013
58. Akinobu Nameda, Kosuke Wakabayashi, Takuya Nakatsuma, Tomomi Hatano, Shinya Saito, Mitsuyuki Inaba, and Tatsuya Sato, 'Learning Lessons from Natural Disaster: Visualizing and Understanding Digital Archives for Great Earthquake in Eastern Japan', *Proceedings of 4th International Conference of Digital Archives and Digital Humanities*, pp.95–114, November 2012
59. Takeyuki Okubo, 'For Protection of Wooden Cultural Heritages and Historic Area from Post Earthquake Fire — Planning of Environmental Water Supply System in Kiyomizu, Kyoto JAPAN', *ICOMOS Advisory and Executive Committee Meetings Scientific Symposium 2012 "Reducing Risks to Cultural Heritage from Natural and Human-Caused Disasters"*, 27 October - 1 November 2012 (Poster)
60. Chulapong Panichkriangkrai, Liang Li, and Kozaburo Hachimura, 'Image analysis for historical Japanese book archives', *Innovations in Information and Communication Science and Technology Second Postgraduate Consortium International Workshop (IIGST 2012)*, pp.154–157, 10–13 September 2012
61. Mamiko Sakata, Masataka Tanno, 'Multimodal Interactions in Duo-Comic Acts Manzai – Quantification of Open Communication Structure - ', *Proceedings of the 8th International Conference on Humanized Systems 2012 (IGHS 2012)*, pp.63–66, 16–18 August 2012
62. Kenta Sato, Hiroyuki Yamamura, Akihiro Tsukamoto, Yuzuru Isoda, Susumu Nakata and Satoshi Tanaka, 'Publishing Three-Dimensional City Models on the Web', *Proceedings of Asia Simulation Conference 2012*, pp.322–330, 27–30 October 2012
63. Wang Sheng, Susumu Nakata, Satoshi Tanaka, '3D CG Model and Virtual Space of Court Noble House "Reizei-ke"', *Proceedings of Asia Simulation Conference 2012*, pp.365–371, 27–30 October 2012
64. Nao Shikanai, Misako Sawada, and Motonobu Ishii, 'Development of the Movements Impressions Emotions Model: Evaluated movements and impressions related to the perception of emotions in dance', *Journal of Nonverbal Behavior*, Vol.37, no.2, pp.107–121, 2013
65. Nao Shikanai and Kozaburo Hachimura., 'Synchronous Dance Movements between Two Dancers in Face-to-face', *2012 IEEE RO-MAN: The 21st IEEE International Symposium on Robot and Human Interactive Communication*, pp.1039–1044, 9–13 September 2012
66. Hirunsalee Siyanee, Rizzi Paola and Kanegae Hidehiko, 'A Preliminary Study on the Role of Italian Universities Related Cultural Heritage Protection from Disaster' "*Disaster Mitigation of Cultural Heritage and Historic Cities*" Vol.6, pp.173–178, 7 July 2012

67. Shinichiro Sumi, Juri Oinuma, Kaoru Arakawa, and Hiroshi Harashima, 'Interactive Evolutionary Image Processing for Face Beautification Using Smaller Population Size', *Proceedings of the IEEE ISPACS 2012*, ISSN 978-1-4673-5081-5, pp. 48-53, 5 November 2012
68. Noriko Suzuki, Tosihiro Kamiya, Ichiro Umata, Mamiko Sakata, and Katunori Shimohara, 'Analysis of emergent division of roles and its reorganization', *Proceedings of the 8th International Conference on Humanized Systems 2012 (ICHHS 2012)*, pp. 57-62, 16-18 August 2012
69. Satoshi Tanaka, Kyoko Hasegawa, Yoshiyuki Shimokubo, Tomonori Kaneko, Takuma Kawamura, Susumu Nakata, Saori Ojima, Naohisa Sakamoto, Hiromi T. Tanaka, and Koji Koyamada, 'Particle-Based Transparent Rendering of Implicit Surfaces and its Application to Fused Visualization', *EuroVis 2012*, pp. 25-29, 5-8 June 2012.
70. Seitaro Tanaka, Taro Tezuka, Atsushi Aoyama, Fuminori Kimura, and Akira Maeda, 'Slide Retrieval Technique Using Features of Figures', *Proceedings of the International MultiConference of Engineers and Computer Scientists 2013 (IMECS2013)*, pp. 424-429, 14 March 2013
71. Ruck Thawonmas, and Kohei Kato, 'Camera Control for Generating Comics from Virtual-Museum Visitors' Experiences', *International Journal on Artificial Intelligence Tools*, vol. 21, no. 2, p. 13, 2012
72. Tsubasa Yamashita, Mamiko Sakata, Masashi Okubo, 'Influence of Relationship with Partner on Video Game Player', *Proceedings of the 8th International Conference on Humanized Systems 2012 (ICHHS 2012)*, pp. 40-45, 16-18 August 2012
73. Lei Yang, Akira Asano, Liang Li, Chie Muraki Asano, and Takio Kurita, 'Multi-structural texture analysis using mathematical morphology', *IEICE Transactions on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences*, E95-A, 10, pp. 1759-1767, 2012
74. Mamoru Yoshimura, Fuminori Kimura, and Akira Maeda, 'Word Segmentation for Text in Japanese .Ancient Writings Based on Probability of Character N-grams', *Proceedings of the 14th International Conference on Asia-Pacific Digital Libraries (ICADL2012)*, pp. 313-316, 14 November 2012
75. Wataru Wakita, Masaru Tsuchida, Shiro Tanaka, Takahito Kawanishi, Kunio Kashino, Junji Yamato, and Hiromi T. Tanaka, "High-resolution and Multi-spectral Capturing for Digital Archiving of Large 3D Woven Cultural Artifacts", *The 2nd ACCV Workshop on e-Heritage 2012*, Revised Selected Papers, Part II, Series: Lecture Notes in Computer Science, Vol. 7729, pp. 83-93, 5-6 November 2012
76. Ming-Hui Wen, Ruck Thawonmas, and Kuan-Ta Chen, 'Pomics: A Computer-aided Storytelling System with Automatic Picture-to-Comics Composition', *Proceedings of the 2012 Technologies and Applications of Artificial Intelligence (TAAI 2012)*, pp. 314-318, November 2012

## 図書

1. Akinobu Nameda, Kosuke Wakabayashi, Takuya Nakatsuma, Tomomi Hatano, Shinya Saito, Mitsuyuki Inaba, and Tatsuya Sato, 'Towards Social Application and Sustainability of Digital Archives: The Case Study of 3D Visualization of Large-scale Documents of the Great Hanshin-Awaji Earthquake', *"Essential Digital Humanities: Defining Patterns and Paths"*, NTU Press, pp. 213-230, November 2012

## ②論文（査読なし）

### 雑誌論文

1. 赤間亮「歌舞伎の見得と風流」国文学論考, 都留文科大学国文学会, 49号, pp. 35-46, 2013年3月
2. 石井晃, 崔雄, Liang LI, Worawat Choensawat, 八村広三郎「携帯情報端末を活用したインタラクティブ健康管理システム」生体情報処理と高度情報処理シンポジウム 2013, 2013(1), pp. 195-197, 28-29 January 2013

3. 石井晃, 崔雄, Liang LI, Worawat Choensawat, 八村広三郎「うんこデータを用いたインタラクティブ健康管理システム」 *Proceedings of the 2013 IEICE General Conference*, 2013(3), pp. 290, 2013年3月19-20日
4. 石上阿希「訓蒙図彙と祐信春本・絵本—『色ひいな形』から『百人女郎品定』まで」石上阿希編『西川祐信を読む 西川祐信研究会論文集』, 立命館大学アート・リサーチセンター, pp. 71-86, 2013年3月31日
5. 石上阿希「日本春画における外来思想の受容と展開」立命館文学 中西健治先生退職記念論集, 立命館大学人文学会, No. 630, pp. 202-212, 2013年3月
6. 稲葉光行「子どもを中心とした活動システムのつながりと地域創造」活動理論の可能性と課題, pp. 4-5, 2012年11月
7. 植田大智, THAWONMAS Ruck「3D オンラインゲームのプレイログによる自動漫画生成: インタラクティブGEによるカメラワーク決定手法」平成24年度情報処理学会関西支部 支部大会講演論文集, G-08, CD-ROM, 2012年9月21日
8. 大城ゆりか, 金度源, 大窪健之, 林倫子「バケツリレーによる消火活動の可能範囲とその算定方法に関する研究~京都市内におけるケーススタディを通して~」地域安全学会第30回研究発表会(春期), pp. 103-106, 2012年6月15日
9. 塩崎大輔, 大窪健之, 金度源, 林倫子「吉良川重要伝統的建造物群保存地区における伝統的な減災の知恵に関する調査研究」, 平成24年度日本建築学会近畿支部研究報告集, 第52号・計画系, pp. 413-416, 2012年6月16日
10. 土谷敏治, 今井理雄, 井上学, 山田淳一「ひたちなか市民の移動行動と公共交通」駒澤地理, 49, pp. 83-92, 2013年3月
11. 亀田和子「杉本博司の『日本美術史』—冷戦ジャポニズムという時代背景」金沢21世紀美術館研究紀要アール Issue, 5, 2013年3月
12. 加茂瑞穂「祐信の服飾意匠とその特徴—風俗絵本と小袖雛形本を手がかりに」石上阿希編『西川祐信研究会論文集』, 立命館大学アート・リサーチセンター, pp. 87-99, 2013年3月
13. 金田章裕「歴史的景観と文化的景観」學士會会報, No. 895, pp. 34-38, 2012年7月
14. 金田章裕「古地図と災害」遺跡学研究, 9号, pp. 96-107, 2012年11月
15. 金田章裕「世界文化遺産と文化的景観」社会科navi, vol. 2, pp. 2-5, 2012年10月
16. 米田浩之, 木立雅朗「道仙化学製陶所窯跡第5次発掘調査成果報告」立命館文学, 立命館大学人文学会, 627, pp. 37-64, 2012年7月
17. 坂部裕美子「古典芸能興行における『保守』と『変革』の相克—興行データベース集計を通して「マンネリ」を考える—」2012年度統計関連学会連合大会論文集, p. 359, 2012年9月
18. 佐藤聖, 崔雄, Liang LI, Worawat Choensawat, 八村広三郎「ラバーハンドイリュージョンを活用したVRシステム」生体情報処理と高度情報処理シンポジウム2013, 2013(1), pp. 199-200, 2013年1月28-29日
19. 佐藤聖, 崔雄, Liang LI, Worawat Choensawat, 八村広三郎「ラバーハンドイリュージョンにおける多感覚相互作用の解析」 *Proceedings of the 2013 IEICE General Conference*, 2013(3), pp. 190, 2013年3月19-20日
20. 鈴木桂子, 「視覚文化研究へのデジタル・ヒューマニティーズ的アプローチ」人文情報学月報, 人文情報学研究所, 第19号【前編】, メールマガジン (<http://archive.mag2.com/0001316391/index.html>), 2013年2月27日
21. 鈴木航太, 崔雄, Liang LI, Worawat Choensawat, 八村広三郎「ARを活用したタイピング学習システム」生体情報処理と高度情報処理シンポジウム2013, 2013(1), pp. 201-202, 2013年1月28-29日
22. 鈴木航太, 崔雄, Liang LI, Worawat Choensawat, 八村広三郎「ARを用いたタイピング学習支援システムの構築」 *Proceedings of the 2013 IEICE General Conference*, 2013(3), pp. 189, 2013年3月19-20日

日

23. 瀬戸寿一「FOSS4Gの普及・活用に向けたOSGeo-Liveの開発とローカライズ」地理情報システム学会講演論文集, 21, 4p. (CD-ROM), 2012年10月13日
24. 竹内千代子「二人の登舟」俳文学研究, 京都俳文学研究会, 58, pp. 2-3, 2012年10月
25. 竹内千代子「淀藩医富原支雪の俳諧」俳文学研究, 京都俳文学研究会, 59, pp. 4-5, 2013年3月
26. 武田祐樹, 原次良, 脇田航, 坂口嘉之, 田中弘美「ポータブル光学異方性反射測定装置を用いた異方性反射モデリング手法の提案」第15回 画像の認識・理解シンポジウム(MIRU2012)論文集, 電子情報通信学会PRMU研究会, 5p., 2012年8月
27. 辻健太, ラック・ターウォンマツ「IGAを用いた漫画におけるカメラワークの進化」ゲーム学会第11回全国大会論文集, pp. 47-48, 2013年3月3日
28. 當山日出夫「『白氏文集』本文データと検索についての課題」東洋学へのコンピュータ利用第24回研究セミナー, 東アジア人文情報学研究センター, pp. 103-111, 2013年3月
29. 豊田祐輔, 酒井宏平, 保川真有美, 鐘ヶ江秀彦「コミュニティ避難を評価するための避難シミュレーション訓練に関する研究」日本シミュレーション&ゲーミング学会全国大会論文報告集 2012年春号, 日本シミュレーション&ゲーミング学会, pp. 27-30, 2012年6月2-3日
30. 豊田祐輔, 鐘ヶ江秀彦, 熊澤輝一「都市化/郊外化/逆郊外化/逆都市化におけるレジリエント・コミュニティ戦略」日本地域学会第49回(2012年)年次大会学術発表論文集, 日本地域学会, CD-ROM, 2012年10月6-8日、
31. 豊田祐輔, 鐘ヶ江秀彦「震災時避難に着目した住民参加型シミュレーション技法による防災まちづくりのプロトタイプ・モデル」日本シミュレーション&ゲーミング学会全国大会論文報告集 2012年秋号, 日本シミュレーション&ゲーミング学会, pp. 63-64, 2012年10月19-20日
32. 中野皓太, 中山雅人, 西浦敬信, 山下洋一「音響シミュレータを用いたセミトランスオーラル音場再現システムのための室内音響指標による客観的評価」日本音響学会 2012年秋季研究発表会, 日本音響学会, pp. 869-870, 2012年9月20日
33. 中野皓太, 中山雅人, 西浦敬信, 山下洋一, 木村 敏幸「空間周波数領域におけるWE-FDTDの数値分散改善の検討」日本音響学会 2013年春季研究発表会, 日本音響学会, pp. 809-812, 2013年3月15日
34. 中谷友樹「地理情報システムを利用した健康づくり支援環境の研究」ESTRELA, 統計情報研究開発センター, 218, pp. 2-9, 2012年5月
35. 八村広三郎「伝統行事のデジタルアーカイブ」電子情報通信学会誌, Vol. 95, No. 10, pp. 862-864, 2012年10月
36. 原島博「VRと美容特集巻頭言/化粧考」日本バーチャルリアリティ学会誌, Vol. 17, No. 2, pp. -, 2012年6月
37. 原島博「改めて人のコミュニケーションと技術について考える」電子情報通信学会誌, Vol. 95, No. 10, pp. 890-893, 2012年12月
38. 原島博「足し算のメディアと引き算のメディア」NHK技研R&D, No. 137, pp. 2-3, 2013年1月
39. ディミトリス・バラス, ダニー・ドーリング, 中谷友樹, ヘレナ・タンストール, 花岡和聖「英国と日本における社会格差—2つの島嶼経済・社会の比較研究に向けて—」季刊社会保障研究, 国立社会保障・人口問題研究所, 48-1, pp. 46-61, 2012年7月
40. 福本亮, THAWONMAS Ruck「自動漫画生成システムにおけるGEを用いたコマ割り生成手法」平成24年度情報処理学会関西支部 支部大会講演論文集, G-09, CD-ROM, 2012年9月21日
41. 福森隆寛, 吉元直輝, 中山雅人, 西浦敬信, 山下洋一「祇園祭音場の高臨場感再生に基づく日本無形文化財のデジタルアーカイブ」日本音響学会聴覚研究会, Vol. 42, No. 7, pp. 579-584, 2012年10月13日
42. 村中亮夫, 谷端郷「東日本大震災からの観光産業の復旧と復興—福島県いわき市を事例として—」歴史都市防災論文集, 立命館大学歴史都市防災研究センター, vol. 6, pp. 377-384, 2012年7月7日
43. 保川真有美, 豊田祐輔, 酒井宏平, 鐘ヶ江秀彦「地域防災力向上のための子どもを対象としたゲーミン

- グ・シミュレーションの有効性に関する研究」日本シミュレーション&ゲーミング学会全国大会論文報告集 2012 年秋号, 日本シミュレーション&ゲーミング学会, pp. 65-66, 2012 年 10 月 19-20 日
44. 矢野桂司, 松岡恵悟, 磯田弦, 花岡和聖, 桐村喬「復興計画策定のための Geodesign フレームワークの適用—福島県相馬市を事例に」歴史都市防災研究, 2, pp. 87-96, 2012 年 3 月
  45. 湯浅俊彦「日本における電子出版の進展と図書館の役割」論究日本文学, 立命館大学日本文学会, 96 号, pp. 43-59, 2012 年 5 月
  46. 湯浅俊彦「電子化する書物と文学作品—電子納本制度への道筋」立命館文学, 630 号, pp. 874-881, 2013 年 3 月
  47. 湯浅俊彦「コンテンツ緊急電子化事業と今後の出版コンテンツ・アーカイブのあり方」月刊 IM, 日本画像情報マネジメント協会, 51 巻, 1 号, pp. 24-26, 2012 年 10 月
  48. 湯浅俊彦「日本における電子出版ビジネスと電子図書館をめぐる政策動向」情報処理, 情報処理学会, 53 巻, 12 号, pp. 1260-1263, 2012 年 12 月
  49. 吉元直輝, 福森隆寛, 中山雅人, 西浦敬信「祇園囃子の放射特性を考慮した高臨場感再生の検討」第 15 回日本音響学会関西支部若手研究者交流研究発表会, p. 16, 2012 年 12 月 9 日【日本音響学会関西支部 若手奨励賞受賞】
  50. 吉元直輝, 福森隆寛, 中山雅人, 西浦敬信「祇園囃子の放射特性を考慮した高臨場音場の構築」電子情報通信学会マルチメディア・仮想環境基礎研究会, Vol.112, No.386, pp.163-168, 2013 年 1 月 23 日
  51. 脇田航, 田中弘美「デジタルミュージアム実現のための間接的展示技術」電子情報通信学会技術研究報告, Vol.112, No.385, pp.41-44, 2013 年 1 月
  52. Naomi Akaishi, Toshikazu Seto, Keiji Yano, and Yukihiro Fukushima, 'Digitalization of "Large-scale Maps of Kyoto City (Kyoto-shi meisai-zu)"', Hsiang, J. ed., *Essential Digital Humanities: Defining Patterns and Paths*, National Taiwan University Press, pp.191-212, 2012
  53. Kyoko Hasegawa, Saori Ojima, Kozaburo Hachimura, and Satoshi Tanaka, 'Visualization of Slice Image with Opacity Based on Particle-Based Renderer', *AsiaSim2012*, pp.388-393, 27-30 October 2012
  54. Naoko Itaya, Rohit Jigyasu, Tomoki Nakaya, Toshikazu Seto, and Satoshi Nagao, 'Geospatial Database for Damage and Risk Assessment of Cultural Heritage: The Cases of Tohoku Area following the Great East Japan Disaster and Historic City of Patan in Kathmandu Valley', *Proceedings of the ICOMOS ICORP International Conference*, pp.235-243, 15 November 2012
  55. Liang Li, Woong Choi, and Kozaburo Hachimura, 'Statistical analysis of the perception of morphological synthesized textures: influences of viewing distance, changing order of viewing positions, gender, and prior knowledge', *IEICE Technical Report*, IEICE Technical Group on Multimedia and Virtual Environment, vol.112, no.385, MVE2012-65, pp.169-173, January 2013
  56. Yusuke Toyoda, and Hidehiko Kanegae, 'A Prototype of Disaster Preparedness Model for Community Collective Evacuation in Urban Areas with Decreasing Social Capital' *The 12th PRSCO Summer Institute and the 4th International Conference of RSAI on Regional Science and Sustainable Regional Development: Conference Proceedings*, pp. 60-76, Renmin University of China(Beijing, China), 3-6 July 2012
  57. Yusuke Toyoda, and Hidehiko Kanegae, 'EVACUATION SIMULATION TRAINING for evaluating residents' collective evacuation process', *4th Annual International Conference: Reality and learning in educational games: Looking forward to ASEAN*, p.30, Mahidol University (Kanchanaburi, Thailand), 19-21 April 2012
  58. Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko, 'Community Planning for Disaster Mitigation: Kyoto, Japan Case Study' *Oregon Planners' Journal*, September/October 2012, pp.32-36, 2012

## 図書

1. 赤間亮「大学での教育にデジタルアーカイブを活用する -ARC モデルの紹介-」知的資源イニシアティブ

- 編『アーカイブのつくりかた 構築と活用入門』 勉誠出版, pp.149-162, 2012年11月
2. 赤間亮「貴重書と錦絵」早稲田大学演劇博物館編『大学文化資源の情報発信 演博改革の10年 鳥越館長の時代』八木書店, pp.55-80, 2013年3月
  3. 石上阿希編, 加茂瑞穂, ゲルガナ・イワノワ, 白倉敬彦、ジェニ・プレストン, ビンチュ・モニカ, 矢野明子, 山本ゆかり『西川祐信を読む 西川祐信研究会論文集』, 立命館大学アート・リサーチセンター, 167p., 2013年3月31日
  4. 大窪健之『歴史に学ぶ減災の知恵ー建築・町並みはこうして生き延びてきた』学芸出版社, 199p., 2012年6月11日
  5. 大窪健之「国宝、文化財等の防災・減災対策」, 災害対策全書編集企画委員会編『災害対策全書4 防災・減災』, ぎょうせい, pp.234-275, 平成23年5月30日
  6. 大窪健之「文化遺産防災へ向けて」, 北原糸子, 松浦律子, 木村玲欧編『日本歴史災害辞典』, 吉川弘文館, pp.116-111, 2012年6月10日
  7. 大西秀紀「歌舞伎音楽のレコード 長唄研精会を中心に」浅原恒男, 阿部さとみ, 大西秀紀, 鈴木英一, 竹内有一, 土田牧子, 前島美保編『平成24年版 歌舞伎に携わる演奏家名鑑』
  8. 金子貴昭『近世出版の板木研究』法藏館, pp.318, 2013年2月
  9. 金田章裕『文化的景観』日本経済新聞出版社, 239p, 2012年4月
  10. 鹿内菜穂・中村雄太郎・八村広三郎「日本舞踊の身体動作における技の評価と定量化への試み」情報処理学会人文科学とコンピュータ研究会, 情報処理学会研究報告, 2012-CH94(6), pp.1-7, 同志社大学(千代田区), 2012年5月26日
  11. 鹿内菜穂(石井源信, 楠本恭久, 阿江美恵子・編)「感情表現と非言語コミュニケーション」『現場で生きるスポーツ心理学』杏林書院, pp.166-173, 2012年8月
  12. 白井啓介監修, 上田学・鈴木直子編『満洲映画』(復刻版)ゆまに書房, 1-4巻, 2012年9月
  13. 高橋学「近世における京都鴨川・桂川の水害」吉越昭久・片平博文編『京都の歴史災害』思文閣出版, pp.33-45, 思文閣出版, 2012年
  14. 塚本章宏「地理情報システムによる歴史災害の可視化」吉越昭久, 片平博文編『京都の歴史災害』, 思文閣出版, pp15-29, 2012年8月
  15. 當山日出夫「金沢文庫本白氏文集『長恨歌』の漢字字体についてー漢字字体規範データベースの応用的事例としてー」石塚晴通編『漢字字体史研究』, 勉誠出版, pp.213-229, 2012年11月
  16. 富田美香『「大映カラー」: イーストマン・コダック カラーシステムの誕生』ワダ・マルシアーノ・光代編『「戦後」日本映画論』青弓社, pp.306-331, 2012年10月
  17. 中谷友樹「歴史災害としての疫病と京都」吉越昭久, 片平博文編『京都の歴史災害』 思文閣出版, pp.300-302. 2012年9月
  18. 前崎信也『松林靄之助「九州地方陶業見学記 全」』宮帯出版, 352p., 2013年3月
  19. 丸茂美恵子(祐佳), 神山彰, 児玉竜一編, 富澤慶秀, 藤田洋監修『最新歌舞伎大事典』柏書房, 平成24年7月25日
  20. 矢野桂司「国勢調査を用いたジェンダーマップの経年変化」由井義通編『女性就業と生活空間: 仕事・子育て・ライフコース』明石出版, pp.27-40, 2012年9月
  21. 矢野桂司「文化遺産防災のプラットフォームを整備するーGISを活用した今後の可能性について」立命館大学『テキスト文化遺産防災学』刊行委員会編『テキスト文化遺産防災学』学芸出版社, pp.193-203, 2013年3月
  22. 矢野健一『杉沢遺跡 2012年度調査概報』立命館大学文学部学芸員課程研究報告, 立命館大学文学部, 第15冊, pp.16, 2013年3月
  23. 湯浅俊彦「出版流通と販売」川井良介編『出版メディア入門 第2版』, 日本評論社, pp.148-175, 2012年6月
  24. 湯浅俊彦『電子出版学入門 改訂3版』出版メディアパル, 142p, 2013年3月

25. 湯浅俊彦, 金子哲弥, 沢辺均「電子図書館の現状と出版産業のこれから」本の学校編『書店の未来を創造する—本の学校・出版産業シンポジウム2011 記録集』, 出版メディアパル, pp.148-187, 2012年7月
26. Keiko Suzuki, "When Westerners were Chinese: Visual Representations of Foreigners in the Japanese Popular Art of Ukiyo-e," *Orientalism/Occidentalism: The Languages of Culture vs. the Languages of Description*, ed. by Evgeny Steiner. Natalis Publishing House (under the aegis of Russian Institute for Cultural Research), pp.114-129, July 2012

## 2) 学会発表

### ①海外での発表

1. 赤間亮「和本デジタル化の進捗と古典籍情報の統合・活用手法」 *EAJRS201*, ベルリン国立図書館(ベルリン, ドイツ), 2012年9月19日
2. 木立雅朗「日本土器製作実験の現況と課題」国際学術シンポジウム 大型甕棺製作復元プロジェクトの成果と展望, 羅州国立文化財研究所(羅州市, 韓国), 2012年9月27日
3. Kazufumi Fukuda, Koichi Hosoi, and Akinori Nakamura, 'On the Problem at Issue of Game Preservation: From the Experiences of Game Archive Project in Japan', *Workshop At SIGGRAPH ASIA 2012 (WASA)*, Fusionopolis, Singapore, 26 November 2012
4. Koichi Hosoi, and Kazufumi Fukuda, 'Critical issues of digital game preservation: For the global collaboration of game archive activities', *Replaying JAPAN*, University of Alberta(Canada), 22 August 2012
5. Koichi Hosoi, and Kazufumi Fukuda, 'Critical issues of digital game preservation: For the global collaboration of game archive activities', *Replaying JAPAN*, University of Alberta(Canada), 22 August 2012
6. Pongpisit Huyakorn, Hidehiko Kanegae and Chaweewan Denpaiboon, 'Applying Gaming Simulation for better Community-based flood Management Plan: a Case Study of Thai Flooded Community', *The 9th International Symposium on Architectural Interchange in Asia*, Architectural Institute of Korea(Gwang-Ju, South Korea), 22-25 October 2012
7. Aki Ishigami, 'Erotic Editions of Chusingura The Forty-seven Loyal Retainers', *ITP joint ARC-HPU-UMH Research Workshop on Japanese Performing and Visual arts*, University of Hawaii at Manoa(Hawaii, USA), 2 March 2013
8. Mitsuyuki Inaba, 'Game Playing as Mediatonal Means for Socio-Cultural Learning', *Replaying Japan: A Symposium on Japanese Gaming, Culture, and Industry*, University of Alberta(Edmonton, Canada), 22 August 2012
9. Akihiro Kinda, 'Disasters on antique maps in Japan: Earthquake, landslide and flood', *The XV. International Conference of Historical Geographers*, Charles University(Prague, Czech Republic), 6-10 August 2012
10. Akihiro Kinda, 'Activities and Management of Inter-University Research Institutes', *Asian New Humanities Net 10th Annual Meeting*, National Cheng Kung University(Taiwan), 1-4 November 2012
11. Liang Li, Woong Choi, Kozaburo Hachimura, Keiji Yano, Takanobu Nishiura, and Kazuyuki Izuno, 'Virtual yamahoko parade with vibration', *The 39th International Conference and Exhibition on Computer Graphics and Interactive Techniques (SIGGRAPH 2012)*, ISBN 978-1-4503-1435-0/12/0008, Los Angeles, USA, August 2012(poster)
12. Liang Li, Chulapong Panichkriangkrai, Kunihiro Oohara, and Kozaburo Hachimura, "An automatic approach for ukiyo-e rakkan character string extraction," *2012 IEEE International Workshop on Multimedia Signal Processing (MMSP 2012)*, Banff, Canada, Septembet 2012(poster)
13. Ryoko Matsuba, 'Actors' Likeness and Yakusha Ehon by Utagawa Kunisada I', *ARC-HPU-UHM Research Workshop on Japanese Performing and Visual Arts*, University of Hawai'i (Manoa, Honolulu), 2 March

2013

14. Ayako Matsumoto, Toshikazu Seto, and Keiji Yano, 'Can GIS Evaluate the Influence of Art Projects on the Society?' , *GIScience 2012*, Ohio State University (Ohio, USA), 20 September 2012
15. Kota Nakano, Masanori Morise, Takanobu Nishiura, and Yoichi Yamashita, 'A study of beamforming in FDTD method to synthesize directional sound for sound field reproduction' , *Acoustics 2012*, Paper Number:4pSP7, Hong Kong Convention and Exhibition Centre (HKCEC), 17 May 2012
16. Akinobu Nameda, Koisuke Wakabayashi, Takuya Nakatsuma, Tomomi Hatano, Shinya Saito, Mitsuyuki Inaba, and Tatsuya Sato, 'Learning Lessons from Natural Disaster: Visualizing and Understanding Digital Archives for Great Earthquake in Eastern Japan' , *4th International Conference of Digital Archives and Digital Humanities*, National Taiwan University (Taipei, Taiwan,) 29 November 2012
17. Yuichiro Nishimura, and Toshikazu Seto, 'The Emergence of Counter-mapping Practices in the Great East Japan Earthquake 2011' , *The 32nd International Geographical Congress Cologne 2012*, University of Cologne (Cologne, Germany), 30 August 2012
18. Chulapong Panichkriangkrai, Liang Li, and Kozaburo Hachimura, 'Support system for analysing digital archives of Japanese woodblock printed historical books' , *2012 IEEE International Workshop on Multimedia Signal Processing (MMSP 2012)*, Banff, Canada, September 2012 (poster)
19. Princess Akiko of Mikasa, 'Reproductions of Horyū-ji Treasures - Mural Paintings and Kudara Kannon in the British Museum-' , *JAPANESE BUDDHIST OBJECTS IN EUROPEAN COLLECTIONS AND THEIR IMPACT ON THE EUROPEAN IMAGE OF JAPAN*, Palac Łochow, Poland, 4-6 June 2012
20. Toshikazu Seto, Yuichiro Nishimura, Haruyuki Seki, and Taichi Furuhashi, 'Roles of the Neogeographer and Issues of Information Sharing to Respond to Disasters : A Case of the Crisis Mapping Project in Japan' , *The 32nd International Geographical Congress Cologne 2012*, University of Cologne (Cologne, Germany), 29 August 2012
21. Toshikazu Seto, Haruyuki Seki, and Taichi Furuhashi, 'The Possibility of OSM Usage through the Mapping Party for Tsunami Disaster Restoration' , *State of the Map 2012*, Tokyo University (Tokyo, Japan), 6 September 2012
22. Toshikazu Seto, 'The Role of the Neogeography for Geospatial Information Sharing: The Case Studies of the Crisis Mapping Project and the FOSS4G Community in Japan' , *ABCD-GIS*, Harvard University (Cambridge, USA), 19 December 2012
23. Nao Shikanai and Kozaburo Hachimura, 'A Preliminary Study of Interpersonal Perception and Timing of Dance Movements in Face-to-face Dances?' , *2012 IEEE International Workshop on Multimedia Signal (MMSP 2012)*, Banff, Canada, 17-19 September 2012 (poster)
24. Keiko Suzuki, 'Kimono in Twentieth-Century Global Circulation' , *ITP Joint ARC-HPU-UHM Research Workshop on Japanese Performing and Visual Arts*, University of Hawaii at Manoa (Honolulu, USA), 2 March 2013
25. Yuki Takeda, Jiro Hara, Wataru Wakita, Yoshiyuki Sakaguchi, and Hiromi T. Tanaka, 'Development of a Portable Anisotropic Reflectance Measurement System for Modeling and Rendering of Bidirectional Texture Functions' , *ACM SIGGRAPH 2012: The 39th International Conference and Exhibition on Computer Graphics and Interactive Techniques*, Los Angeles Convention Center (California, USA), 7-8 August 2012 (Posters)
26. Yusuke Toyoda, and Hidehiko Kanegae, 'Community-based disaster risk reduction by participatory simulation methods for safer earthquake evacuation in the case of historic city, Kyoto' , *5th annual international ThaiSim conference: Looking forward to ASEAN, Reality and learning in educational games*, Thonburi University (Bangkok, Thailand), 21-23 March 2013
27. Manabu Ueda, 'The Development of Regional Characteristics during the Emergence of Moving Picture

- Theaters: A Comparison between Tokyo and Kyoto' , *Twelfth International Domitor Conference*, University of Brighton(Brighton, UK), 22 June 2012
28. Shunji Yamamura, Hironobu Fukai, and Gang Xu, 'Self-Localization of Stereo Video See-through HMD for Markerless MR' , *Computers and Communications 2012(ITC-CSCC2012)*, Sapporo Convention Center(Sapporo, Japan), 15-18 July 2012
  29. Keiji Yano, 'Digital Kyoto' , *Geoinformatics: extending ICT research across academic disciplines*, University of St Andrews(St Andrews, UK), 27 June 2012
  30. Keiji Yano, 'Classifying the Japanese in London using Geodemographics' , *IGC2012*, Cologne, germany, 29 August 2012
  31. Keiji Yano, Keigo Matsuoka, Yuzuru Isoda, Takashi Kirimura, Toshikazu Seto, and Tomoki Nakaya, 'Geodesign for Restoration Planning in Disaster-Affected Regions' , *ESRI User conference 2012*, San Diego Convention Center(California, USA) , 23-27 July 2012(Poster)
  32. Naoki Yoshimoto, Takahiro Fukumori, Masato Nakayama, and Takanobu Nishiura, 'Evaluation of reproducing high-realistic acoustic sound field based on the radiation characteristics of musical accompaniment for Gion festival' , *NCSP2013*, pp.169-172, Courtyard King Kamehameha's Kona Beach Hotel(Hawaii, USA), 4 March 2013
  33. Wataru Wakita and Hiromi T. Tanaka, 'Digital Archiving of Large 3D Woven Cultural Artifacts' , *Eurographics 2012: the 33rd Annual Conference of the European Association for Computer Graphics*, Cagliari, Italy, 15 May 2012 (Posters)
  34. Wataru Wakita, Masaru Tsuchida, Shiro Tanaka, Takahito Kawanishi, Kunio Kashino, Junji Yamato, and Hiromi T. Tanaka, 'High-definition and Multispectral Capturing for Digital Archiving of Large 3D Woven Cultural Artifacts' , *ACM SIGGRAPH 2012: The 39th International Conference and Exhibition on Computer Graphics and Interactive Techniques*, Los Angeles Convention Center(California, U. S. A. ), 7-8 August 2012(Posters)

## ②国内での発表

1. 赤石直美, 瀬戸寿一, 矢野桂司, 福島幸宏, 玉田浩之, 長志珠絵, 西川祐子「近代京都 GIS データベースと占領期京都研究」2012 年度人文地理学会大会, 立命館大学(京都市), 2012 年 11 月 17 日
2. 石上阿希「訓蒙図彙と祐信春本・絵本—あらゆる階層の人々を描く」第 2 回西川祐信研究会, 国際日本文化研究センター(京都市), 2012 年 8 月 24 日
3. 石上阿希「京都の浮世絵師・西川祐信—絵本・春本にみる諸階層の人々の表現」第 15 回ライスボールセミナー, 立命館大学(京都市)、2012 年 10 月 30 日
4. 稲葉光行「テキストマイニング手法による取調べ調書の分析～大逆事件を事例として～」東京大逆事件研究会, 明治大学(千代田区), 2013 年 3 月 8 日
5. 稲葉光行「子どもを中心とした活動のつながりと文化創造の可能性」活動理論学会第 2 回大会, 立命館大学(京都市), 2012 年 8 月 18 日
6. 岩切友里子「曾我五郎: 矢の根から肌背馬」近世視覚文化を読み解く会, 立命館大学東京オフィス(東京), 2012 年 7 月 24 日
7. 井上学, 今井理雄, 山田淳一「住民組織が運営する乗合バス事業の合意形成とサービスの変化—函館市陣川地区あさひ町会バスを事例として—」日本地理学会, 公開シンポジウム『地理学の社会的役割を考える』, 立正大学(熊谷市), 2013 年 3 月
8. 上田学『『活弁』の系譜学』口頭芸ジャンルの盛衰史—メディア文化史記述における口承文芸研究の基礎領域化—(平成 24 年度科学研究費助成事業・挑戦的萌芽研究) 第 1 回研究会, 北九州市立大学(北九州市) 2012 年 9 月 16 日
9. 大西秀紀「音声資料に対する共通認識のために」研究プロジェクト「東アジア古典演劇の『伝統』と『近代』—『伝統』の相対化と『文化』の動態把握の試み—」研究会, 国際高等研究所(京都府精華町)、2012

年 8 月 21 日

10. 大西秀紀「大阪の声と唄」大阪芸能懇話会, 難波生涯学習センター(大阪市), 2013年2月24日
11. 金子貴昭「奈良大学博物館所蔵高野板の板木について—『巻き摺り』の板木—」立命館大学日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点第4回新拠点セミナー, 立命館大学アート・リサーチセンター(京都市), 2012年7月18日
12. 金子貴昭「近世出版の根本装置『板木』—板木による書誌学の構築」立命館グローバル・イノベーション研究機構(R-GIRO), 第16回ライスボールセミナー, 立命館大学衣笠キャンパス(京都市), 2012年11月6日
13. 金子貴昭「立命館大学アート・リサーチセンターのデジタルアーカイブ活動—特に、板木デジタルアーカイブについて」大学図書館問題研究会, 大図研京都ワンディセミナー, 立命館大学末川記念会館(京都市), 2012年12月15日
14. 金子貴昭「板木デジタルアーカイブからわかること—板木に残るいくつかの痕跡」立命館大学日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点, DHワークショップ『凸版印刷×ARC』, 立命館大学アート・リサーチセンター(京都市), 2013年2月1日
15. 金子貴昭「板木デジタルアーカイブを核とした近世出版総合デジタルアーカイブの構想」第2回知識・芸術・文化情報学研究会, 立命館大学大阪キャンパス(大阪市), 2013年2月9日
16. 金子貴昭「奈良大学博物館所蔵K分類の板木について—高野版の板木—」京都俳文学研究会2013年3月例会, 龍谷大学大宮キャンパス(京都市), 2013年3月16日
17. 加茂瑞穂「祐信の風俗絵本における服飾表現とその影響」第二回西川祐信研究会, 国際日本研文化研究センター, 2012年8月
18. 川嶋将生「中世における“草履”の献上と権門—『七十一番職人歌合』“草履作り”に関連して—」世界人権問題研究センター第2部会, 世界人権問題研究センター(京都市), 2012年11月21日
19. 川嶋将生「洛中洛外図屏風への学際的アプローチ—描かれた習俗をめぐる—」DHワークショップ『デジタル風俗画研究の可能性』, 京都文化博物館(京都市), 2013年3月15日
20. 木立雅朗「桶窯の民俗例からみた『平窯』の天井について」窯跡研究会第9回例会, 同志社大学今出川キャンパス(京都市), 2012年10月27日
21. 木立雅朗「主旨説明と分布調査の意義」検討会 丹波・篠窯跡群の最新成果—分布調査と発掘調査—, 立命館大学アートリサーチセンター, 2012年10月25日
22. 桐村喬「東京23区における平均世帯規模の縮小と世帯構成の変化—1965年~2010年」日本地理学会2013年春季学術大会, 立正大学(熊谷市), 2013年3月29-31日
23. 桐村喬「小地域人口統計からみた近現代の東京における居住地域構造の変遷」2012年人文地理学会大会, 立命館大学(京都市), 2012年11月17-18日
24. 桐村喬, 中谷友樹「社会地区類型に与える空間単位の差異の影響—国勢調査町丁・字等と500mメッシュの比較—」CSIS DAYS 2012, 東京大学空間情報科学研究センター(柏市), 2012年11月2-3日
25. 小里篤史, 脇田航, 田中弘美「物理ベース触力覚提示のための手指動作シミュレーション」2013年電子情報通信学会総合大会, 岐阜大学(岐阜市), 2013年3月19日(ポスター)
26. 小林和弘, 脇田航, 田中弘美「VR創業体験のためのMPS法による粘弾性流体と剛体の連成シミュレーション」2013年電子情報通信学会総合大会, 岐阜大学(岐阜市), 2013年3月19日(ポスター)
27. 阪田真己子, 鈴木紀子, 桑井春菜「音声フィルターの抑制が動作フィルターの生起量に与える影響について」日本認知科学学会第29回大会, 仙台国際センター(仙台市), 2012年12月13日
28. 坂部裕美子「古典芸能興行における『保守』と『変革』の相克—興行データベース集計を通して「マンネリ」を考える—」2012年度統計関連学会連合大会, 北海道大学(北海道札幌市), 2012年9月12日
29. 佐古愛己「中世叙位制度の展開と叙位関連文書—位記・口宣案を中心に—」第45回日本古文書学会大会, 東大寺総合文化センター(奈良市), 2012年9月23日
30. 佐古愛己「中世叙位制度の特質に関する—考察—鎌倉期を中心に—」史学会2012年第110回大会研究発

表, 東京大学 (文京区)、2012 年 11 月 11 日

31. 鈴木桂子, 'Ainu Material Culture in American Museums: Collecting History between the 1880s and the 1910s', 国際日本学会, 第 8 回年次総会, 立命館大学アート・リサーチセンター (京都市北区), 2012 年 11 月 24 日
32. 瀬戸寿一「日本における OpenStreetMap を用いたボランティア地理情報の構築と参加」2013 年日本地理学会春季学術大会, 立正大学熊谷キャンパス (熊谷市), 2013 年 3 月 30 日
33. 高橋学「環境史からみた東北地方太平洋沖地震の津波被害」第 32 回日本土木史学会, 日本大学 (千代田区), 2012 年 6 月 16 日
34. 高橋学「環境考古学と土地の履歴」日本建築学会, 建築会館 (港区), 2012 年 4 月
35. 塚本章宏「近世京都のガイドブックに掲載された諸師諸芸・諸職名匠—漆器・蒔絵関連産業の展開を事例に—」2012 年度ライスボールセミナー, 立命館大学 (京都市), 2012 年 6 月 26 日
36. 塚本章宏「カリフォルニア大学バークリー校東アジア図書館『日本古地図コレクション』の内容と来歴」人文地理学会, 立命館大学 (京都市), 2012 年 11 月 17-18 日
37. 塚本章宏「カリフォルニア大学バークリー校所蔵古地図コレクションの来歴と現状—渡米からデジタルアーカイブまで—」立命館大学日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点 第 7 回新拠点セミナー, 立命館大学 (京都市), 2012 年 12 月 19 日
38. 塚本章宏「『京羽二重』にみる近世期京都の産業—〈諸師諸芸・諸職名匠 GIS アトラス〉の構築—」日本地理学会, 日本地理学会春季学術大会, 立正大学熊谷キャンパス (品川区), 3 月 28~31 日
39. 塚本章宏, 柴田祐, 来見田博基, 高橋徹, 鳴海邦匡「古地図とモバイル端末を用いた地域学習支援アプリケーションの開発」日本地理学会, 2013 日本地理学会春季学術大会, 立正大学熊谷キャンパス (品川区), 3 月 28~31 日
40. 塚本章宏「GIS (地理情報システム) からみる洛中洛外図屏風に描かれた京都」立命館大学日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点ワークショップ『デジタル風俗画研究の可能性』, 京都府京都文化博物館別館 (京都市), 2013 年 3 月 15 日
41. 富田美香「帝国日本のアマチュア映画文化 朝鮮での展開」JSPS 二国間交流事業共同研究 シンポジウム植民地期の韓国映画と日本映画の交流について, 立命館大学 (京都市), 2012 年 3 月 2 日
42. 中谷友樹「GIS と健康格差の空間疫学」疫学の未来を語る若手の集い『疫学と異分野のコラボレーション—脳科学、経済、GIS と疫学—』第 23 回日本疫学会学術総会, 大阪大学 (吹田市), 2013 年 1 月 24 日
43. 花岡和聖, 中谷友樹, 田淵貴大「国民生活基礎調査のマイクロデータを活用した小地域推定法の検討—大阪市を事例に—」人文地理学会, 立命館大学 (京都市), 2012 年 11 月 18 日
44. 花田卓司「中世・近世における下野国の郡域変動について—『ムラの戸籍簿』作成からみえてくるもの—」都市史研究会, 東京大学 (文京区), 2012 年 10 月 6 日
45. 花田卓司「2012 年度日本史研究会大会共同研究報告」日本史研究会中世史部会大会反省会, 機関紙会館 (京都市), 2012 年 11 月 25 日
46. 平井佐和, 田中士郎, 坂口嘉之, 田中弘美「物体表面の微視的幾何構造と光学特性に基づく質感の解析」2013 年電子情報通信学会総合大会論文集, 2013 年 3 月
47. 日比谷孟俊「画かれた河東節と一中節—吉原と菅野序遊父子—」第 5 回絵入本ワークショップ, 関西大学 (吹田市), 2012 年 12 月 11 日
48. ビンチク・モニカ「蒔絵に見る人物表現と古典文学意匠」風俗画研究会, 2, 立命館大学 (京都市), 2012 年 8 月 11 日
49. ビンチク・モニカ「蒔絵に見る浮世絵—祐信デザインを中心に—」第 2 回西川祐信研究会, 国際日本文化研究センター (京都市), 2012 年 8 月 24 日
50. ビンチク・モニカ, 永田智世「白山松哉作蒔絵八角菓子器をめぐって」漆工史学会, 根津美術館 (港区), 2012 年 11 月 17 日
51. 細井浩一, 福田一史「日本におけるゲーム保存の取り組みの発展とその課題」日本デジタルゲーム学会

- 2012 年次大会, 九州大学 (福岡市), 2013 年 3 月 4 日
52. 細井浩一「日本におけるゲーム保存の取り組みの発展とその課題」日本デジタルゲーム学会 2012 年次大会, 九州大学 (福岡市), 2013 年 3 月 4 日
  53. 細井浩一「日本におけるゲーム保存: 経緯と現状」International Videogame Preservation Conference, 時雨殿 (京都市), 2013 年 1 月 18 日
  54. 松葉涼子「役者似顔と春本—初代春章から初代豊国までを中心に—」第 229 回東海近世文学会五月例会, 鶴舞中央図書館 (名古屋), 2012 年 5 月 26 日
  55. 松葉涼子「国性爺合戦『鳴蛤の段』の図像について」近世視覚文化を読み解く研究会 8 月研究会, 立命館大学東京キャンパス (千代田区), 2012 年 8 月
  56. 松葉涼子「騎牛の画題さまざま」近世視覚文化を読み解く研究会 9 月研究会, 立命館大学東京キャンパス (千代田区), 2012 年 9 月
  57. 丸茂美恵子, 竹田陽子, 渡沼玲史, 三戸勇氣, 小沢徹, 篠田之孝「日本舞踊におけるモーションキャプチャ利用のフィードバック・ループの検討」教育改革 ICT 戦略大会、公益社団法人私立大学情報教育協会 (JUICE), 私学会館 (千代田区), 平成 24 年 9 月 6 日
  58. 丸茂美恵子, 川上央, 小沢徹, 三戸勇氣, 西川箕乃助, 篠田之孝「モーションキャプチャ利用による無形文化財 (日本舞踊) の継承支援について」第 2 回知識・芸術・文化情報学研究会, 立命館大学大阪キャンパス (大阪市), 平成 25 年 2 月 9 日
  59. 村中亮夫「社会調査環境の移行期における新たな調査法とその課題」経済地理学会関西支部 12 月例会, 大学コンソーシアム大阪 (大阪市), 2012 年 12 月 8 日
  60. 村中亮夫, 谷端郷「東日本大震災からの観光産業の復旧と復興—福島県いわき市を事例として—」グローバル化とアジアの観光研究会 2012 年度第 2 回研究会, 立命館大学 (京都市), 2012 年 6 月 22 日
  61. 矢野桂司「GIS 人材育成」GIS 上級技術者会議 in KANSAI, 立命館大学朱雀キャンパス (京都市), 2012 年 8 月 18 日
  62. 矢野桂司「新しい GIS の展開による地理学の発展」GIS コミュニティフォーラム in 関西, 梅田スカイビル (大阪市), 2012 年 10 月 11 日
  63. 矢野桂司「新しい GIS の展開による地理学の発展」GIS コミュニティフォーラム in 九州, アクロス福岡 (福岡市) 2012 年 10 月 31 日
  64. 矢野桂司、2012 年度立命館大学京都校友会年次総会@立命館大学、2012 年 11 月 11 日
  65. 矢野桂司「新しい GIS の展開による地理学の発展」GIS コミュニティフォーラム in 北海道, ACU (札幌市), 2012 年 11 月 21 日
  66. 矢野桂司「GIS を用いた統計情報の可視化と活用方法」第 38 回統計講習会, ルビノ京都堀川 (京都市), 2012 年 11 月 26 日
  67. 矢野桂司, 桐村喬「東京都区部における外国人居住のジオデモグラフィクス」地理情報システム学会, 広島修道大学 (広島市), 2012 年 10 月 13 日
  68. 矢野桂司, 花岡和聖, 中谷友樹, 桐村喬「大学生の通学経路・手段の時空間分析」地理情報システム学会, 広島修道大学 (広島市), 2012 年 10 月 14 日
  69. 矢野健一「日本考古学の研究方法と理論 趣旨説明」第 58 回考古学研究会研究集会, 岡山大学 (岡山市), 2012 年 4 月 21-22 日
  70. 矢野健一・福島勇貴「水中ロボットを利用した葛籠尾崎湖底遺跡の調査の現状と課題」第 4 回水中考古学セミナー, 桜美林大学 (新宿区), 2012 年 10 月 6 日
  71. 山路正憲「役者評判記自動索引ツールの開発による研究効率の改善」第二回知識・芸術・文化情報学研究会, 2013 年 2 月 9 日
  72. 山本真紗子「ビゲローらと日本の美術市場・美術商」日本フェノロサ学会第 33 回年次大会, 帝京大学 (千代田区), 2012 年 9 月 12 日
  73. 湯浅俊彦「電子出版ビジネスの新展開」大学図書館問題研究会, 第 43 回全国大会, コミュニティ嵯峨野

(京都市), 2012年8月5日

74. 湯浅俊彦「激動する電子出版ビジネスと図書館」大阪市立大学大学院創造都市研究科ワークショップ, 大阪市立大学梅田サテライト (大阪市), 2012年8月18日
75. 湯浅俊彦「日本における電子出版の進展と電子納本制度の課題」日本出版学会, 東京経済大学大学院コミュニケーション学研究科博士課程開設10周年記念国際シンポジウム第15回国際出版研究フォーラム, 東京経済大学国分寺キャンパス (国分寺市), 2012年10月20日
76. Mitsuyuki Inaba, 'Constructing 3D Metaverse for Inheriting and Sharing Japanese Traditional Culture', *Japanese Association of Digital Humanities Conference 2012 (JADH2012)*, University of Tokyo(Tokyo, Japan), 17 September 2012
77. Mitsuyuki Inaba, 'Constructing 3D Metaverse for Inheriting and Sharing Japanese Traditional Culture', *Japanese Association of Digital Humanities Conference 2012 (JADH2012)*, University of Tokyo(Tokyo, Japan), 16 September 2012(poster)
78. Shinya Maezaki, 'ARC Image Database of Japanese Arts and Culture', *Digital Archives Research Meeting with Mr. Richard Prouty, Arizona State Library, Archives and Public Records (U. S. A.)*, Ritsumeikan University (Kyoto, Japan), 15 October 2012
79. Koshi Nishimoto, Mamiko Sakata, Keita Miyamoto, 'Multimodal Interactions Development Process in Collaborative Creation', *the 34th annual meeting of the Cognitive Science Society*, Sapporo Convention Center (Sapporo, Japan), 1-4 August 2012
80. Chulapong Panichkriangkrai, Liang Li, and Kozaburo Hachimura, 'Character segmentation for Japanese woodblock printed historical books', *The 8th Joint Workshop on Machine Perception and Robotics (MPR2012)*, Kyushu University(Fukuoka, Japan), PS1-7, 16-17 October 2012
81. Toshikazu Seto, and Yuichiro Nishimura, 'Geospatial Crisis Mapping Project by Neo-geographers Using Free and Open Source Software', *2012 International Symposium: The 2011 Japanese Tsunami: Disaster, Response, and Recovery*, J.F. Oberlin University (Tokyo, Japan), 19 October 2012
82. Nao Shikanai, Kozaburo Hachimura, Misako Sawada, and Motonobu Ishii, 'Kansei Information and Movement Characteristics Related to the Expression of Joy in Dance - An investigation for analyzing rousing and stimulating dance motions', *SNPD 2012 13th ACIS International Conference on Software Engineering, Artificial Intelligence, Networking and Parallel/Distributed Computing*, pp. 399-404, Campus Plaza Kyoto, (Kyoto, Japan), 8-10 August 2012
83. Ryohei Suzuki, Hironobu Fukai, Gang Xu, "Realtime Image-Based Pose Estimation of a Hand-Held Kinect and Integration of Point Clouds", *Computers and Communications 2012(ITC-CSCC2012)*, Sapporo Convention Center (Sapporo, Japan), 15-18 July 2012
84. Masako Yamamoto, 'Seisuke Ikeda and his collection', The International Association for Japan Studies (IAJS), *International Association for Japan Studies 8th Annual Convention*, Ritsumeikan University (Kyoto, Japan), 24 November 2012
85. Ryoya Yamazaki, Tetsuro Masuda, Hironobu Fukai, Gang Xu, and Yoshitoshi Kunieda, 'Real-Time Multi-Player Tracking and Identification Using Synchronized Multiple Cameras in Field Sports', *The 8th Joint Workshop on Machine Perception and Robotics (MPR2012)*, The Kyushu University School of Medicine Centennial Hall (Fukuoka, Japan), 16-17 October 2012
86. Keiji Yano, Toshikazu Seto, and Dai Kawahara, 'Digital Museum of Gion Festival within Virtual Kyoto', *The 19th International Display Workshops in conjunction with Asia Display 2012*, Kyoto International Conference Center (Kyoto, Japan), 6 December 2012
87. Wataru Wakita, Hiromi T. Tanaka, 'A Multi-scale and Direct-touchable Immersive Visuo-haptic Interface', *the 8th Joint Workshop on Machine Perception and Robotics (MPR2012)*, The Kyushu University (Fukuoka, Japan), CD-ROM, 16-17 October 2012

88. Wataru Wakita, Masaru Tsuchida, Junji Yamato, and Hiromi T. Tanaka, 'Digital Archiving and Large-scale Visuo-haptic Display of Large 3D Woven Cultural Artifacts', *the 19th International Display Workshops in conjunction with Asia Display 2012 (IDW/AD '12)*, Kyoto International Conference Center (Kyoto, Japan), 4-7 December 2012

### 3) 省庁、学会、財団などの表彰

1. 中谷友樹, 瀬戸寿一, 長尾諭, 矢野桂司, 板谷(牛谷)直子『東日本大震災における文化財被災地図』, ESRI ジャパンユーザ会, 第8回 GIS コミュニティフォーラム マップ・ギャラリーコンテスト, 2位, 2012年5月31日
2. 吉元直輝, 福森隆寛, 中山雅人, 西浦敬信「祇園囃子の放射特性を考慮した高臨場感再生の検討」日本音響学会, 日本音響学会関西支部 若手奨励賞受賞, 2012年12月9日
3. Keiji Yano, Tomoki Nakaya, Tatsunori Kawasumi, Akio Muranaka, Kazomasa Hanaoka, Takashi Kirimura, Toshikazu Seto, Akihiro Tsukamoto, Ayako Matsumoto, and Naomi Akaishi, "SAG (Special Achievement in GIS) Award", *2012 Esri International User Conference*, 23-27 July 2012

### 4) 外部資金獲得(競争的研究費、共同研究、受託研究、奨学寄附金等)

1. 競争的資金 科学研究費補助金 基盤研究C (H23~25) (日本学術振興会)  
「デジタル環境下における版本書誌記述法の標準化」赤間亮(代表), H24 直接経費 1,000,952 円
2. 競争的資金 科学研究費補助金 基盤研究C (H24~28) (日本学術振興会)  
「在欧洲絵入版本・浮世絵のカタログング」赤間亮(代表), H24 直接経費 1,800,000 円
3. 競争的資金 科学研究費補助金 若手研究B (H23~25) (日本学術振興会)  
「大英博物館所蔵日本美術コレクションの基礎研究」彬子女王(代表), H24 直接経費 500,000 円
4. 競争的資金 科学研究費補助金 若手研究B (H23~24) (日本学術振興会)  
「浮世絵師西川祐信の基礎的研究—上方と江戸の文化交流を中心として—」石上阿希(代表), H24 直接経費 1,102,945 円
5. 競争的資金 科学研究費補助金 基盤研究B (H22~26) (日本学術振興会)  
「メタバースを利用した日本文化に関する「状況学習」の支援環境に関する総合的研究」稲葉光行(代表), H24 直接経費 2,200,000 円
6. 競争的資金 科学研究費補助金 基盤研究B (H23~25) (日本学術振興会)  
「逆都市化における頑強性を高めるコンパクトシティ政策シミュレーションに関する研究」鐘ヶ江秀彦(代表), H24 直接経費 2,800,000 円
7. 競争的資金 科学研究費補助金 研究活動スタート支援 (H23~24) (日本学術振興会)  
「板木デジタルアーカイブ拡充と板木書誌学の確立」金子貴昭(代表), H24 直接経費 1,100,000 円
8. 競争的資金 科学研究費補助金 研究成果公開促進費 学術図書 (H24) (日本学術振興会)  
「近世出版の板木研究」金子貴昭(代表), H24 直接経費 1,300,000 円
9. 競争的資金 科学研究費補助金 若手研究B (H22~24) (日本学術振興会)  
「古代都市史研究のための考古学的遺構情報のGISデータベース構築」河角龍典(代表), H24 直接経費 1,000,000 円
10. 競争的資金 科学研究費補助金 若手研究B (H24~26) (日本学術振興会)  
「戦後日本の二大都市圏における世帯構成の地理的変化のメカニズムに関する研究」桐村喬(代表), H24 直接経費 1,300,000 円
11. 競争的資金 科学研究費補助金 若手研究B (H24~25) (日本学術振興会)  
「「キューブ」による資料空間の可視化とその社会的応用に関する研究」齋藤進也(代表), H24 直接経費 1,300,000 円
12. 競争的資金 科学研究費補助金 若手研究B (H22~25) (日本学術振興会)  
「GISを活用した中世成立期京都と貴族社会の研究—都市災害・造営・政治経済の関係性」佐古愛己(代表), H24 直接経費 700,000 円

13. 競争的資金 科学研究費助成金 基盤研究 C (H22~24) (日本学術振興会)  
「精度保障された平滑化に基づく微分計算による、医用ボリュームデータの解析・可視化」田中覚  
H24 直接経費 500,000 円
14. 競争的資金 科学研究費助成金 基盤研究 A (H24~26) (日本学術振興会)  
「視力覚にもとづく技能伝承のための仮想実地訓練環境の構築」田中弘美  
H24 直接経費 11,500,000 円
15. 競争的資金 科学研究費補助金 基盤研究 C (H20~24) (日本学術振興会)  
「小型映画文化のアーカイヴ構築にむけた基礎的研究」富田美香 (代表), H24 直接経費 500,000 円
16. 競争的資金 科学研究費補助金 基盤研究 C (H22~24) (日本学術振興会)  
「中国コンテンツ産業における産業クラスター形成と産業振興政策に関する比較事例研究」  
中村彰憲 (代表), H24 直接経費 600,000 円
17. 競争的資金 科学研究費助成金 基盤研究 B (H24~26) (日本学術振興会)  
「地理的剥奪指標に基づく近隣健康格差の分析」中谷友樹 (代表), H24 直接経費 7,200,000 円
18. 競争的資金 科学研究費補助金 基盤研究 C (H23~25) (日本学術振興会)  
「音環境理解に基づく危険検知・警報システムの構築」西浦敬信 (代表), H23 直接経費 1,300,000 円
19. 競争的資金 科学研究費助成金 基盤研究 B (H24~26) (日本学術振興会)  
「舞踊・演劇・祭礼等における複数人物による身体動作の記録・解析・表現」八村広三郎  
H24 直接経費 3,200,000 円
20. 競争的資金 科学研究費補助金 若手研究 B (H23~24) (日本学術振興会)  
「20 世紀初頭における日本陶芸技術の西漸に関する研究」前崎信也 (代表), H24 直接経費 501,422 円
21. 競争的資金 科学研究費助成金 基盤研究 B (H24~26) (日本学術振興会)  
「GIS ベースの日本版センサス地理学の確立とその応用に関する研究」矢野桂司 (代表)  
H24 直接経費 5,800,000 円
22. 競争的資金 科学研究費補助金 基盤研究 C (H22~25) (日本学術振興会)  
「新しい土器編年に基づく水田稲作普及の実態」矢野健一 (代表), H24 直接経費 500,000 円
23. 競争的資金 科学研究費補助金 若手研究 B (H23~24) (日本学術振興会)  
「明治大正期の欧米での日本人美術商の活動に関する調査」  
山本真紗子 (代表), H24 直接経費 530,234 円
24. 競争的資金 科学研究費補助金 基盤研究 C (H23~25) (日本学術振興会)  
「メタバースにおける移動分析・行動分析・体験集約による体験学習支援」THAWONMAS Ruck (代表),  
H23 直接経費 1,000,000 円
25. 補助金 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 (文部科学省)  
「芸術・文化分野の資料デジタル化を軸とした研究資源共有化研究」, 赤間亮, (2009. 4. 1~2014. 3. 31),  
計 8,000,000 円
26. 補助金 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 (文部科学省)  
「京都における工芸文化の総合的研究」, 木立雅朗, (2010. 4. 1~2015. 3. 31), 計 14,000,000 円
27. 補助金 研究者海外派遣基金助成金<大航海プログラム> (日本学術振興会)  
「組織的な若手研究者等課外派遣プログラム平成 21 年公募 文化遺産と芸術作品を防御するための若手研究者国際育成推進プログラム」, 鐘ヶ江秀彦 (\* 歴史都市防災研究センターと共同採択), (2010. 2. 1~2013. 1. 31), 計 13,828,000 円
28. 受託事業 研究者海外派遣基金助成金 若手研究者国際・トレーニングプログラム (ITP) (日本学術振興会)「組織的な若手研究者等課外派遣プログラム 平成 21 年公募 文化遺産と芸術作品を防御するための若手研究者国際育成推進プログラム」, 鐘ヶ江秀彦 (\* 歴史都市防災研究センターと共同採択), (2010. 2. 1~2013. 1. 31), 計 16,250,000 円
29. 受託事業「デジタル・ミュージアムの展開に向けた実証実験システムの研究開発」事業「複合現実型デジ

- タル・ミュージアム」(文部科学省) (主管研究実施機関: 東京大学、研究代表者: 廣瀬通孝: H22-26), 田中弘美, (2012. 4. 6~2013. 3. 29), 計 17, 500, 000 円
30. 受託研究 国立音楽大学付属図書館 (2012. 10. 4-2013. 3. 31)  
「国立音楽大学付属図書館所蔵近世邦楽資料のデジタル化と研究活用」, 赤間亮, 計 1, 000, 000 円
31. 受託研究 公立大学法人横浜市立大学 (2013. 01. 09-2013. 3. 31)  
「横浜市立大学図書館所蔵貴重図書 WEB 閲覧システム開発研究」, 赤間亮, 計 1, 200, 000 円
32. 受託研究 特定非営利活動法人古材文化の会 (2012. 5. 30-2013. 3. 31)  
「奈良県における町家及び民家のデータベース構築」, 矢野桂司, 計 350, 000 円
33. 受託研究 京都市 (2012. 10. 2-2013. 3. 15)  
「京都のまちの将来像の作成業務 (西陣地域)」, 矢野桂司, 計 57, 750 円
34. 奨学寄付金 (株)ハウスセゾン, 細井浩一, 計 400, 000 円
35. 奨学寄付金 公益財団法人下中記念財団, 赤間亮, 計 300, 000 円

## 5) 特許

### ①出願

なし

### ②取得

なし

## 6) その他 (報道発表、講演会等)

### ①報道発表

1. 大窪健之「お東さんの防火水道守れ~明治後期設置のスプリンクラー」読売新聞夕刊, p. 10, 2012 年 4 月 5 日
2. 大窪健之「マイクロ水力で発電」京都新聞夕刊, p. 2-3, 2012 年 6 月 20 日
3. 大窪健之「地域防災情報ネットワークの活用~燃えても消せる減災まちづくり」日刊工業新聞, p. 17, 2012 年 8 月 31 日
4. 大窪健之「フロンティア列伝「日常に溶け込む防災の大切さ」朝日新聞夕刊, p. 5, 2012 年 8 月 29 日
5. 大窪健之「地域防災情報ネットワークの活用~燃えても消せる減災まちづくり」日刊工業新聞, p. 17, 2012 年 8 月 31 日
6. 大窪健之「篠山重伝建での地域防災情報センサー社会実験」神戸新聞 p. 23, 2012 年 1 月 22 日
7. 大窪健之「篠山重伝建での地域防災情報センサー社会実験」読売新聞, 2012 年 1 月 18 日, 毎日新聞 (地方版) 2012 年 1 月 18 日, 丹波新聞 p. 2 2012 年 1 月 20 日
8. 大窪健之「篠山重伝建での地域防災情報センサー社会実験」丹波新聞, p. 2, 2012 年 1 月 20 日
9. 大窪健之「現代に受け継がれる『方丈記』の教え」サライ, 小学館, 2013 年 3 月号, p. 121, 2013 年 2 月 10 日
10. 木立雅朗「友禅図案の仮想美術館」週刊京都民報, 2012 年 11 月 25 日
11. 木立雅朗「近代をのこす・つたえる」TBS『報道の魂』, 2012 年 4 月 15 日
12. 西浦敬信「祇園囃子をデジタル保存 立命大、演奏映像も」京都新聞, 2013 年 1 月 8 日
13. 西浦敬信「祇園祭お囃子を収録、伝統文化を次代へ」読売新聞, 2012 年 12 月 3 日
14. 山本真紗子「近代友禅デザインの仮想と現実—デザイン原画とデジタルミュージアム—」京都民報, 2012 年 11 月 20 日
15. 山本真紗子「大原女—柴売りから観光資源へ—」京都新聞, 2013 年 2 月 9 日夕刊
16. 山本真紗子「大原女—柴売りから観光資源へ—」中日新聞, 2013 年 2 月 16 日朝刊
17. 山本真紗子「大原女—柴売りから観光資源へ—」朝日新聞, 2013 年 2 月 22 日朝刊
18. 山本真紗子「大原女—柴売りから観光資源へ—」KBS 京都, 2013 年 1 月 28 日

### ②講演会

1. 赤間亮, 'Digital Revolution in the study of Japanese art and culture', 日本学科セミナー, シ

- ンガポール国立大学（シンガポール），2012年8月24日
2. 赤間亮「浮世絵・伝説・歌舞伎」日本文化公開講座，ヴェネツィア カ・フォスカリ大学（ベニス，イタリア），2012年10月25日
  3. 赤間亮「錦絵と古典籍 国内外のデジタル化事情」人文課古典籍係研究会，国会図書館東京本館（千代田区），2012年7月25日
  4. 彬子女王「日本美の心 Untold Stories」第4回世界創傷治療学会連合会議，パシフィコ横浜（横浜市），2012年9月2日
  5. 彬子女王「心游舎—日本の文化を未来に伝えるために—」特別講演、慶應義塾大学大学院経営管理研究科、慶應義塾大学日吉キャンパス（横浜市），2012年9月
  6. 彬子女王「日本の文化を未来に伝えるために」京都 II ゾンタクラブ月例会，京都ロイヤルホテル&スパ（京都市），2012年9月
  7. 彬子女王「感謝の心をつなぐ」特別講演会、慈照寺国際交流文化事業、プチパレ美術館，（パリ，フランス）、2012年10月
  8. 彬子女王「大英博物館で生まれた日本美術史」『ZESHIN』展 特別講演会 2，根津美術館（港区），2012年12月15日
  9. ，2012年12月15日
  10. 彬子女王「今こそ伝えたい日本のこころ」AJU 自立の家特別講演会、ウェスティンナゴヤキャッスル（名古屋市）、2013年1月
  11. 彬子女王「日本の文化を未来に伝えるために」E0 Osaka 3 月度月例会，AKAGANE RESORT KYOTO HIGASHIYAMA（京都市），2013年3月25日
  12. 石上阿希，浦上満「北斎漫画と北斎の浮世絵に見る『江戸の食』」アサヒラボ・ガーデン（大阪市），2012年10月27日
  13. 石上阿希，福岡伸一，千住博，伊東順二，浦上満「あっぱれな北斎談義」『あっぱれ北斎！光の王国展』特別イベント，フェルメール・センター銀座（中央区），2013年2月
  14. 石上阿希「食べる、生きる、恋する江戸時代の女性たち～江戸の浮世絵・春画から学ぶ健康の秘訣～」アサヒラボ・ガーデン（大阪市），2013年2月6日
  15. 井上学「みんなで考える明日のバス～バスについて一緒に考えませんか？～」明星町集会所（宇治市），2012年7月
  16. 井上学「みんなで考える明日の公共交通～地域にあった生活交通のあり方～」榎島コミュニティセンター（宇治市），2012年12月
  17. 井上学「地域に合った生活交通のあり方～事例紹介をもとに考えてみましょう～」宇治市榎島地区地域生活交通活性化協議会，榎島コミュニティセンター（宇治市），2013年3月24日
  18. 大窪健之「歴史都市を守る文化遺産防災への取り組み」，京都アスニー（京都市），2012年12月21日
  19. 大窪健之「歴史に学ぶ減災の知恵～伝統を活かした防災まちづくりへ」，NPO 法人プロジェクト南からの潮流，加世田麓旧鯉坂邸（南さつま市），2013年1月26日
  20. 大窪健之「町並みを火災から守る～地域防災情報ネットワークの社会実験の成果」，篠山市十篠山まちなみ保存会，鳳凰会館（篠山市），2013年3月23日
  21. 大西秀紀「義太夫節 SP レコードを聴く会」国立文楽劇場（大阪市），2012年11月29日
  22. 大西秀紀「音源解説：邦楽の近代」デジタル化資料活用研修会，国立国会図書館関西館（京都府精華町），2013年3月21日
  23. 亀田和子「なぜ人は物にこだわるの？ —ハワイと日本美術の場合」Aloha Amigo! フェデリコ・エレロ×関口和之 ハワイパシフィック・レクチャー，金沢 21 世紀美術館（金沢市），2012年9月9日
  24. 徐剛「産業ロボットのための3次元ビジョン～研究開発から社会実装へ」，（独）新エネルギー・産業技術総合開発機構 RT 企業セミナー，東京大学（文京区），2013年2月28日
  25. 高橋学「未来をみつめる環境考古学—考古学と災害—」名古屋トップセミナー，東急ホテル，2013年1月30日

26. 高橋学「未来を語る環境考古学—災害のメカニズム—」縄文講座「縄文ムラの立地と環境 第2回」, 仙台市縄文の森博物館(仙台市), 2013年1月20日
27. 高橋学「迫りくる巨大災害—名古屋市南区の場合—」笠東ボランティアネットワーク『災害講演会』, 笠東小学校体育館(草津市), 2012年12月8日
28. 高橋学「平安時代は海だった浜脇中学校—地形から防災を考える」西宮市子供環境支援センター, 浜脇中学校, 2012年12月5日
29. 高橋学「ペルー、チリと日本列島の災害」JICA研修会, 西宮市役所(西宮市), 2012年2月23日
30. 高橋学「震災と土地条件」静岡県道路協会総会, クーポール会館(静岡市), 2012年4月24日
31. 高橋学「迫りくる巨大地震—志段味地区の地形環境と地質—」名古屋市消防局, サイエンス交流プラザ(名古屋市), 2012年4月15日
32. 高橋学「地理学からみた災害」NPO法人こども環境活動支援協会まちの語り部セミナー2012, 西宮市役所(西宮市), 2012年4月14日
33. 中谷友樹「地域環境と健康」2012年公衆衛生セミナー「日本における健康の社会決定要因」, 大阪大学(吹田市), 2012年7月28日
34. 中谷友樹「地理情報システムと空間疫学の基礎」第20回疫学セミナー「疫学研究手法の新しい展開」, 第23回日本疫学会学術総会, 大阪大学(吹田市), 2013年1月24日
35. 八村広三郎「情報技術と人文科学の新しい出会い: デジタル・アーカイブ, デジタル・ヒューマニティーズ, そしてデジタル・キュレーション」日本知能情報ファジィ学会ソフトサイエンス研究部会, 第23回ソフトサイエンス・ワークショップ, 大学コンソーシアム京都(京都), 2013年3月10日
36. 原島博「ヒューマン・インタ・フェース—人(ヒューマン)も顔(フェース)も関係(インタ)でつながれている」ヒューマンインタフェース学会2012年度通常総会, 芝浦工業大学(江東区), 2012年3月1日
37. 原島博「歴史は今という時代をどう見るか?—なぜいま情報技術なのか?—」東京電機大学講演, 東京電機大学(足立区), 2012年5月10日
38. 原島博「コミュニケーション技術の進歩を100年単位で俯瞰する」電波航法研究会, 2012年5月18日
39. 原島博「科学技術を改めて考える」電子情報通信学会「未来世代から見たコミュニケーション科学の魅力と学習意欲向上」第3種研究会, 村上・原島先生を囲む会, 日本女子大学(文京区), 2012年5月19日
40. 原島博「阿修羅の顔の謎を解く」立命館大学日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点, 第2回新拠点セミナー, 立命館大学(京都市), 2012年5月23日
41. 原島博「新しい科学はどのようにして創られるのか—顔学の発想、顔学からの発想—」明治大学新領域創造特論, 明治大学(川崎市), 2012年6月6日
42. 原島博「知のデザイン—デカルトの知からダ・ヴィンチの知へ—」日本顔学会, 第3回日本顔学会中部支部研究会, 栄中日文化センター(名古屋市), 2012年7月26日
43. 原島博「いい顔が, いい自分, いいコミュニケーションをつくる」広島県教員初任者研修, 2012年8月1日
44. 原島博「VRが変わる、文化が変わる、学会が変わる」日本VR学会, 第17回日本VR学会大会, 慶應義塾大学(横浜市), 2012年9月13日
45. 原島博「コンピュータで探る顔の秘密」第21回日本形成外科学会基礎学術集会, ホテルリステル猪苗代(福島県), 2012年10月4日
46. 原島博「いい顔になるための顔学講座」放送大学東京渋谷学習センターふれあい講演会, 2012年11月16日
47. 原島博, しりあがり寿「顔博士とマンガ教授のおもしろ顔教室」取手アートプロジェクトこどもプログラム, とりでアートギャラリーきらり(取手市), 2012年12月8日
48. 原島博「顔学への招待—コンピュータで探る顔の秘密—」群馬工業高等専門学校, 電子情報工学科講演会, 群馬工業高等専門学校(前橋市), 2012年12月14日

49. 原島博「未来世代に学ぶー被災地の高校生との交流を通じて学んだこと、それを学会の未来につなぐー」電子情報通信学会, HCG シンポジウム 2012, くまもと森都心プラザ (熊本市), 2012 年 12 月 12 日
50. 原島博「歴代会長・副会長と共に考える映像情報メディアと学会の未来」映像情報メディア学会, 2012 年映像情報メディア学会冬季大会, 東京理科大学 (新宿区), 2012 年 12 月 18 日
51. 原島博「科学技術イノベーションと ICT」電子情報通信学会東京支部, 戦略的情報通信研究開発セミナー 2012 <<SCOPE の活用による ICT 研究開発の促進に向けて>>, 機械振興会館 (港区), 2012 年 12 月 20 日
52. 原島博「アート・デザイン・テクノロジーーなぜ近くて遠いのかー」横断型基幹科学技術推進協議会, 第 36 回横幹技術フォーラム, 筑波大学 (文京区), 2013 年 1 月 29 日
53. 原島博, 中村桂子, 大江麻理子, 河口洋一郎「我々はどこから来たのか?ー生物学ー, エンジン 01 文化戦略会議オープンカレッジ in 浜松, 2013 年 2 月 10 日
54. 原島博, 内田繁, 今川憲英, 熊倉功夫「茶の湯を聞こう, エンジン 01 文化戦略会議オープンカレッジ in 浜松, 2013 年 2 月 10 日
55. 原島博「いい顔がいい地域をつくる」世田谷代沢地区まちづくり推進協議会講演会, 2013 年 2 月 15 日
56. 原島博「人はなぜコミュニケーションするのか?なぜ遊ぶのか?なぜ学ぶのか?」電子情報通信学会 2013 年総合大会シンポジウム, 岐阜大学 (岐阜市), 2013 年 3 月 20 日
57. 原島博「学問融合のすすめ」東京大学ドリームネット「卒業生と語る会」基調講演, 2012 年 12 月 16 日
58. 原島博「いい顔になろうーコンピュータで探る顔の秘密ー」REIKO KAZKI フェイスプランナー養成コース特別講演, 2012 年 04. 14 日
59. 日比谷孟俊「浮世絵から見た江戸新吉原江戸町一丁目和泉屋の歴史」日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点, 新拠点セミナー番外編 vol. 6, 立命館大学アトリサーチセンター (京都市), 2012 年 12 月 10 日
60. 細井浩一「ゲーミフィケーションをめぐる両義性 ambiguity について」*Gamification Conference 2012*, 東京ミッドタウン (東京都), 2012 年 6 月 27 日
61. 細井浩一「友禅仮想展示におけるミュージアム設計」近代友禅デザインの仮想と現実, 立命館大学 (京都府), 2012 年 11 月 2 日
62. 丸茂美恵子「歌舞伎舞踊を中心とする日本舞踊 (概論)」古典芸能アートマネジメント人材育成講座, 米原市文化産業交流会館 (米原市), 平成 24 年 1 月 14 日, 1 月 22 日
63. 森清顕, 大窪健之対談「清水寺かいわいを守るみやこびとの心意気~未来へのこす京都の魅力」京都市, 京あるき in 東京, 京都造形大学外苑キャンパス (港区), 2013 年 2 月 16 日
64. 矢野健一「杉沢遺跡を掘るー住民とともに探る地域史ー」埋蔵文化財シンポジウム『北近江考古学事始めー地域史を語り続ける埋蔵文化財ー』, 米原市近江公民館 (米原市), 2013 年 3 月 3 日
65. 湯浅俊彦「電子出版時代の大学図書館」国立教育系大学図書館協議会研究部会, 兵庫教育大学神戸サテライト (神戸市), 2012 年 7 月 12 日
66. 湯浅俊彦「デジタル環境下における学校図書館の役割ー電子書籍、デジタル教科書、電子図書館」第 18 回近畿学校図書館夏季セミナー, 大阪市立中央図書館 (大阪市), 2012 年 8 月 3 日
67. 湯浅俊彦「電子出版ビジネスの新展開と図書館の重要性」沖縄県図書館協議会研修会, 沖縄県立図書館 (那覇市), 2012 年 9 月 18 日
68. Koichi Hosoi, 'Situated Learning Platform for Japanese Language and Culture in 3D Metaverse', *Canadian Association for Japanese Language Education Conference 2012 (CAJLE2012)*, Banff Park Lodge, Banff, Canada, 2-3 August 2012
69. Mitsuyuki Inaba, 'Game Playing as Mediatonal Means for Inheriting and Sharing Culture', *Workshop At SIGGRAPH ASIA 2012 (WASA)*, Fusionopolis, Singapore, 26 November 2012
70. Mitsuyuki Inaba, 'Visualizing and understanding the interrogation process: the possibility of computer-based textual analysis of confession statements', *6th East Asian Law and Psychology Conference*, Ritsumeikan University (Kyoto, Japan), 27 October 2012

71. Kazuko Kameda, 'Transforming Visual Representations of the Spring Festivals in Edo Japan', *ARC-HPU-UHM Research Workshop on Japanese Performing and Visual Arts*, University of Hawaii (Manoa, Hawaii), 2 March 2013
72. Kazuko Kameda, 'Copying and Theory in Tokugawa Japan (1615-1868)', *Faculty Scholarship Day*, Hawaii Pacific University (Honolulu, Hawaii), January 2013.
73. Kazuko Kameda, 'Transformation of the Orchid Pavilion Gathering Visual Representation', *The 6th Meeting of Society of Asian Art of Hawaii*, Honolulu Academy of Arts (Honolulu, Hawaii), April 2012
74. Kazuko Kameda, 'Iconography of the Orchid Pavilion', *Center for Japanese Studies Seminar*, University of Hawaii (Manoa, Hawaii), 30 April 2012
75. Takeyuki Okubo, 'Adaptive Reuse of Cultural Heritage Sites as Disaster Mitigation Bases and Resources -Traditional Wisdoms for Disaster Mitigation in History of Japanese Architecture and Historic Cities-', *2012 International Conference on Conservation and Adaptive Reuse of Cultural Properties*, Taichung Cultural & Creative Industries Park (Taiwan), 4 October 2012
76. Princess Akiko of Mikasa, 'Constructing the History of Japanese Art in the British Museum', *Annual General Meeting, The Asiatic Society of Japan*, the British Ambassador's residence, OAG House (Tokyo, Japan), 4 February 2013
77. Satoshi Tanaka, Makoto Uemura, Masatsugu Yamamoto, Kyoko Hasegawa, Susumu Nakata, 'Particle-Based Translucent Visualization of Funeboko for the Gion Festival', *The 19th International Display Workshops in conjunction with Asia Display 2012 (IDW/AD'12)*, Kyoto International Conference Center (Kyoto, Japan), 6 December 2012
78. Ruck Thawonmas, 'Summary of Virtual Museum Visit Experience in Comic Forms', *Computer Gaming Track, Workshop at SIGGRAPH Asia 2012*, Fusionopolis, Singapore, 26 November 2012
79. Gang XU, 'Robot Vision', *Symposium on Intelligent Signal Processing*, Southeast University (Nanjing China), 7 September 2012
80. Takahiro Yoshida, Kyoko Hasegawa, Susumu Nakata, Satoshi Tanaka, 'Transparent Visualization with Feature Extraction Based on Particle-based Rendering', *The 8th Joint Workshop on Machine Perception and Robotics (MPR2012)*, Kyushu University (Fukuoka, Japan), 16-17 October 2012

### ③その他

#### (シンポジウム)

1. 上田学「大韓帝国皇太子記録映画の日本における受容」JSPS 二国間交流事業共同研究シンポジウム『植民地期の韓国映画と日本映画の交流について』, 立命館大学(京都市), 2013年3月2日
2. 大窪健之「葵サミット『私たちの葵～葵を通して学んだこと～』」コーディネーター, 上賀茂神社・庁屋, 2012年10月28日
3. 大窪健之『第4回文化遺産防災アイデアコンペティション 受賞作品を囲む』コメンテーター-地域市民懇談会, 旧立誠小学校, 2012年11月11日
4. 高柳亜紀, 土田勝, 坂口嘉之, 田中弘美「マルチバンド画像を用いた織物の鏡面反射光の解析」CVIM研究会技術研究報告, 2013年3月14日
5. 田中士郎, 平井佐和, 坂口嘉之, 田中弘美「超高解像度 HDR 画像計測によるシルクライク織物の反射と散乱特性抽出」CVIM研究会技術研究報告, 2013年3月14日
6. 富田美香「JSPS 二国間交流事業共同研究 シンポジウム植民地期の韓国映画と日本映画の交流について」企画・司会, 立命館大学(京都市), 2012年3月2日
7. 福田一史「ゲーム保存国際カンファレンス: ビデオゲーム ~保存?忘却?世界はどう考えているか~」企画・運営, 小倉百人一首殿堂 時雨殿(京都市), 2013年1月18日.
8. 福田一史「アカデミズムの使い方-越境する知と多様化するキャリアパス」企画・運営, 立命館大学創思館カンファレンススーム(京都市), 2013年2月24日.

9. 湯浅俊彦, 浅野隆夫, 山中弘美, 柳与志夫, 植村八潮「デジタル環境下における出版ビジネスと図書館—競合から協同へ」図書館総合展 2012 フォーラム, パシフィコ横浜 (横浜市), 2012 年 11 月 21 日
10. 湯浅俊彦, 樋渡啓祐, 高橋聡, 南学「指定管理者制度の最前線—地方分権時代における図書館の可能性」図書館総合展 2012 フォーラム, パシフィコ横浜 (横浜市), 2012 年 11 月 21 日
11. 湯浅俊彦, 福島幸宏, 山田富美代「MLUI 連携とデジタルアーカイブの活用—新たな知の発見に向けて」図書館総合展 2012 フォーラム, パシフィコ横浜 (横浜市), 2012 年 11 月 22 日
12. Ruck Thawonmas, “Computer Gaming Track, Workshop at SIGGRAPH Asia 2012”, Fusionopolis, Singapore, 26 November 2012

(ワークショップ)

1. 井上学「分科会 (2): 公共交通インフォメーションの統一的表现への挑戦」交通まちづくりフォーラム—みんなで支える公共交通—『第 10 回バスマップサミット in 札幌』, 札幌エルプラザ (札幌市), 2013 年 2 月 17 日
2. 矢野桂司「GIS Day in 関西 2012」立命館大学 (京都市), 2012 年 10 月 27 日
3. 矢野桂司, ‘Soma City GIS/Geodesign Workshop in Tohoku 2013’, 東北大学 (仙台市), 2013 年 2 月 27 日-3 月 1 日
4. Ryo Akama, “Inscriptions Reading Workshop”, Leiden University (Leiden, Netherlands), 8-12 March 2013
5. Princess Akiko of Mikasa, ‘Reproductions of Horyū-ji Treasures - Mural Paintings and Kudara Kannon in the British Museum -’, 国際シンポジウム『ヨーロッパの博物館・美術館保管の日本仏教美術コレクションと日本観の形成』, パラツ・ウオフフ (ポーランド), 2012 年 6 月 4-6 日

(講座)

1. 上田学「日活の誕生とサイレントの時代」公開講座『青春の輝き 日活映画の 100 年』第一回、東京工芸大学 (中野区), 2012 年 10 月 1 日
2. 上田学「トーキーの到来と日活時代劇」公開講座『青春の輝き 日活映画の 100 年』第二回、東京工芸大学 (中野区), 2012 年 10 月 8 日
3. 大窪健之「For Protection of Cultural Heritages and Urban Areas from Earthquake Triggered Fire +Lessons for disaster mitigation, “Kakekomi-dera” or sanctuaries in 311 Earthquake - Regional heritage sites used as temporary shelters -」, JICA2012 プログラム「歴史都市の保全・防災と文化観光への活用」, 立命館大学 (草津市), 2012 年 8 月 28 日
4. 大窪健之「Traditional Wisdoms for Disaster Mitigation in History of Japanese Architecture and Historic Cities+How to make the Disaster Risk Management Plan ; Environmental Water Supply System for Protection of Wooden Cultural Heritages from Post-earthquake Fire」, インドネシア公共政策立案研修 (防災), 立命館大学歴史都市防災研究センター (京都市), 2012 年 10 月 1 日
5. 岡本隆明「中世・近世の文書を読む」京都府立総合資料館 平成 24 年度古文書入門教室, 京都府立大学 大学会館 (京都市), 平成 24 年 12 月 10 日
6. 岡本隆明「東寺百合文書の『つかいかた』」京都府立総合資料館 平成 24 年度歴史資料解説講座, 京都府立大学 (京都市), 平成 25 年 3 月 7 日
7. 川嶋将生「祇園祭—近世京都の祝祭—」高槻市歴史講座, 高槻市生涯学習センター (高槻市), 2012 年 6 月 12 日
8. 川嶋将生「近世京都の祝祭」颯川美術館台 36 回文化講座, 颯川美術館 (西宮市), 2012 年 7 月 8 日
9. 川嶋将生「足利義満—文化史のなかの義満—」楽問塾セミナー, 大阪市民大学センター (大阪市) 2012 年 7 月 21 日
10. 川嶋将生「清水寺と信仰—物語のなかの“弱者”」世界人権問題研究センター『講座・人権ゆかりの地

をたずねて』, ウィングス京都(京都市) 2012年12月15日

11. 川嶋将生「京の祇園会と町衆」京都造形芸術大学公開講座『芸能の中世』, 京都造形芸術大学(京都市), 2013年1月7日
12. 木立雅朗「京都の伝統工芸と戦争—清水焼と友禅染—」京都大学総合博物館レクチャーシリーズ no. 105, 京都大学総合博物館(京都市), 2012年10月6日
13. 木立雅朗「鳴滝・丁子屋町・乾山について—鳴滝乾山窯跡の発掘調査と焼成実験—」第16回寺町美術祭り講演会, 寺町美術まつり実行委員会, 2012年10月21日
14. 木立雅朗, 山本真紗子「友禅図案を活かす」第3039回立命館大学土曜講座, 立命館大学末川記念会館講義室(京都市), 2012年12月1日
15. 中谷友樹「公衆衛生の考え方と地理的分析」, 防犯実務専科, 関東管区警察学校, 2012年10月30日
16. 西浦敬信「祇園囃子の記録と再現—お囃子のデジタル化に挑戦—」第3041回立命館土曜講座, 立命館大学(京都市), 2012年12月15日.
17. 松葉涼子「文字と絵で楽しむ江戸歌舞伎」小学館アカデミー古文書塾『てらこや』特別講座, 2012年7月~9月(全五回)

(輪講)

1. 金子貴昭「『井華集』輪講407—411」京都俳文学研究会2012年7月例会, 龍谷大学大宮学舎(京都市), 2012年07月21日
2. 金子貴昭「『井華集』輪講427—431」京都俳文学研究会2012年11月例会, 龍谷大学大宮学舎(京都市), 2012年11月17日
3. 竹内千代子「高井几董編『井華集』432-436句の輪講発表」京都俳文学研究会第188回例会, 2012年11月17日
4. 竹内千代子「高井几董編『井華集』442-446句の輪講発表」京都俳文学研究会第189回例会, 2012年12月15日

(展示企画)

1. 岡本隆明「平成24年度 東寺百合文書展—原本と翻刻で見る古文書の世界—」京都府立総合資料館(京都市)、平成25年2月23日-3月17日
2. 第58回広島平和美術展に「華道家元池坊×立命館大学国際平和ミュージアム『平和の祈りを生ける』」と題して陶器製手榴弾を出品参加(池坊由紀氏と共同参加)、広島県民文化センター地下展示室、2012年8月2日~7日
3. 「京都・大学ミュージアム連携 大学は宝箱! 京の大学ミュージアム収蔵品展」に友禅図案・陶器製手榴弾などを出品参加、京都大学総合博物館、2012年10月3日~11月25日
4. 第20回8.15国際平和美術展に「華道家元池坊×立命館大学国際平和ミュージアム『平和の祈りを生ける』」と題して陶器製手榴弾を出品参加(池坊由紀氏と共同参加)、東京ドームシティ・プリズムホール、2012年10月7日~9日
5. 木立雅朗「丹波・篠窯跡群の最新成果—歩いて調べた須恵器生産—展」企画, 立命館大学アトリサーチセンター(京都市), 2012年10月3日-25日
6. 木立雅朗, 山本真紗子「近代友禅デザインの仮想と現実—デザイン原画とデジタルミュージアム—展」企画, キャプション・パンフレット執筆, 立命館大学アトリサーチセンター(京都市), 2012年10月29日-11月26日
7. 塚本章宏「京都地誌データベース」<http://www.dh-jac.net/db1/books/kyofu/index.html>, 2012年7月
8. 細井浩一「京都<型友禅>バーチャルミュージアム」, 2012年4月~2013年3月【仮想空間監修・制作】  
<http://slurl.com/secondlife/rits%20gcoe%20jdh/166/132/22>
9. 細井浩一「日本文化学習環境空間(神社境内)」, 2012年4月~2013年3月【仮想空間監修・制作】

<http://slurl.com/secondlife/rits%20gcoe%20jdh/75/151/22>

10. 細井浩一 「rits-gcoe-jdh」, 2012年4月~2013年3月【仮想空間監修・制作】
11. <http://slurl.com/secondlife/rits%20gcoe%20jdh/166/133/23>
12. 矢野桂司「京都祇園祭大船鉾復興展示『京都市無形文化遺産展示室』」, ヨドバシカメラマルチメディア 京都1F特別展示スペース
13. 矢野桂司「京都アスニー『バーチャル平安京』」
14. 山本真紗子「大原女―柴売りから観光資源へ―」企画・キャプション執筆, 京都工芸繊維大学美術工芸資料館, 2013年1月28日~2月23日

(ワークショップ企画)

1. Kazuko Kameda, “*Japanese Buddhist Temples in Hawaii - Workshop*, Society of Asian Art of Hawaii”, Japanese Cultural Center of Hawaii (Honolulu, Hawaii), January 2013

(ギャラリートーク)

1. 上田学「日活向島と、その『革新』の意義」企画展『日活映画の100年 日本映画の100年』ギャラリー・トーク“『日活史』を学ぼう!”, 東京国立近代美術館フィルムセンター(中央区), 2012年8月18日

(コメンテーター)

1. 富山日出夫, 「国立国語研究所 NINJAL セミナー『漢文訓読再発見』」富山大学理学部多目的ホール(富山市), 2012年7月27日

(執筆)

1. 彬子女王「彬子女王殿下が贈る日本美のこころ」『和楽』小学館, 2011年1月号より連載中
2. 彬子女王「中世の街に学んで―オックスフォード留学記―」『Voice』PHP研究所, 2012年4月号より連載中
3. 彬子女王「日本文化」日本人の忘れもの第2部, 京都新聞, 2013年3月24日
4. 石上阿希「国芳春画の珍客」及び作品解説, 『別冊太陽 国芳の春画』, 平凡社, pp.78-81, pp94-101, pp.166-168, 2012年11月
5. 石上阿希「北斎の世界がわかる3つのこと」『hanako』, マガジンハウス, 2012年2月
6. 岩切友里子「武者絵に描かれた赤穂義士」赤穂市立歴史博物館 平成24年度特別展図録「描かれた赤穂義士」, 2012年11月23日
7. 岩切友里子監修・執筆「別冊太陽 日本のこころ196 月岡芳年」平凡社, 2012年6月23日
8. 上田学「日活100年をめぐる企画・特集展示録」, 『NFC ニュースレター』, 東京国立近代美術館, 106号, pp.15-16, 2012年12月
9. 上田学「満洲映画協会と「新京」の映画館」, 『The Art Times』, デラシネ通信社, 9号, pp.11-13, 2012年10月
10. 上田学「現存最古の国産映写機」『文部科学教育通信』, ジアース教育新社, No.307, p.1, 2013年1月
11. 大西秀紀「私のこの一冊」『演劇界』, 演劇出版社, 2月号, pp.138, 2013年2月
12. 大西秀紀「会社別 歌舞伎音楽 SP レコード・ディスクグラフィ」第35回公開講座『黒御簾音楽を探る 芸談と資料研究』配付資料, 京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター, pp.39, 2013年2月
13. 大西秀紀「二世豊竹古鞠太夫の伊賀八」『二世豊竹古鞠太夫(山城少掾)伊賀越道中双六 岡崎の段』CDリーフレット, 日本コロムビア, CDCJ-37883-4, 2013年2月
14. 大西秀紀「邦楽の近代―義太夫節を中心に―」『歴史的音源』Webサイト, 国立国会図書, 2013年3月 [http://rekion.dl.ndl.go.jp/ja/ongen\\_shoukai\\_01.html](http://rekion.dl.ndl.go.jp/ja/ongen_shoukai_01.html)
15. 金子貴昭「関西アート・ドキュメンテーション通信 No.73」アート・ドキュメンテーション通信, 94, p.25,

アート・ドキュメンテーション学会, 2012年8月

16. 金子貴昭「関西アート・ドキュメンテーション通信 No. 74」アート・ドキュメンテーション通信, 95, pp. 10-13, アート・ドキュメンテーション学会, 2012年10月
17. 金子貴昭「関西アート・ドキュメンテーション通信 No. 75」アート・ドキュメンテーション通信, 96, pp. 21-24, アート・ドキュメンテーション学会, 2013年1月
18. 加茂瑞穂(データ整理)「染織日出新聞見出し一覧(1932年4月~1933年3月)」『文化学園大学・文化ファッション研究機構 平成22~24年度服飾文化共同研究拠点採択公募研究課題(共同研究番号22007) 近代京都の着物図案に関する研究 調査報告書』, 2013年2月
19. 川嶋将生, 横浜市立大学戦略的研究プロジェクト編『横浜市立大学貴重資料集成: II 古地図—地球のかたちと万国の大地—』作品解説, pp. 162-181, 2013年3月29日
20. 木立雅朗「友禅図案・絵摺りの修復とデジタル・アーカイブ」『学芸員 NEWS LETTER』, 立命館大学文学部, 第25号、表紙・pp. 1-2, 2013年3月
21. 鈴木遼平, 深井寛修, 徐剛「Kinect の画像情報を用いたリアルタイム自己位置姿勢推定及び点群情報の統合による密な3次元形状復元」精密工学会・画像応用技術専門委員会サマーセミナー2012テキスト, 21, 9.3-4, pp. 1-4, 犬山館(犬山市), 2012年9月
22. 高橋学「ローリングストックという知恵」, 女性セブン, 小学館, 2013年1月17日
23. 高橋学「首都圏直下地震はこれからだ」, 週刊ポスト, 小学館, 2012年12月14日
24. 高橋学「環境考古学」, Meets, エルマガジン社, 2012年12月1日
25. 高橋学「首都圏直下巨大地震ここにいればあなたは助かる」, 週刊現代, 講談社, 2012年11月24日、
26. 高橋学「首都圏直下巨大地震これが最終版危険地帯マップ」, 週刊現代, 講談社, 2012年11月17日
27. 高橋学「そろそろやってくるM7クラスの首都直下型地震」, 週刊現代, 講談社, 2012年11月3日
28. 高橋学「巨大地震と富士山噴火これが生死の分かれ目になる」, 週刊現代, 講談社, 2012年10月20日
29. 高橋学「南海トラフ大地震」, 週刊女性, 主婦と生活社, 2012年10月2日
30. 高橋学「いま富士山が大噴火したら」, 週刊現代, 講談社, 2012年9月22日
31. 高橋学「南海トラフ地震大津波で大阪・名古屋が消える」, 女性セブン, 小学館, 12年9月20日
32. 高橋学「南海トラフ地震」, 週刊現代, 講談社, 2012年9月15日
33. 高橋学「主要都市で30年以内に大地震が起きる確率」, 週刊現代, 講談社, 2012年9月14日
34. 高橋学「富士山は3年で爆発する」, 週刊現代, 講談社, 2012年8月18日
35. 高橋学「最新地震研究早わかり」, 週刊現代, 講談社, 2012年4月21日
36. 塚本章宏「学界展望 地図」人文地理, 64(3), pp. 63-64, 2012年6月
37. 富田美香「京都と映画」井上満郎監修, 京都新聞出版センター編『意外と知らない京都』, pp. 116-119, 2012年7月
38. 富田美香「有りがたうさん」「生れてはみたけれど」「鞍馬天狗」「丹下左膳」「暖流」「無法松の一生」, 『日本大百科全書』データベース, 2012年12月
39. 西川扇藏, 龍居竹之介, 丸茂祐佳, 西川箕乃助「西川流家伝書『かつを売・水売』」テキスト西川流宗家, 平成24年8月24日
40. 日比谷孟俊「溪斎英泉が描いた京町一丁目『姿海老屋』の人事異動」千葉市美術館『浮世絵師溪斎英泉展 図録』, pp. 23-31, 2012年5月
41. ビンチク・モニカ著, 加茂瑞穂訳「西川祐信作品の挿絵をもとにした漆器デザインについて」石上阿希編『西川祐信論文集』, 立命館大学アート・リサーチセンター, pp. 101-110, 2013年3月
42. 松葉涼子「展覧会図録解説執筆」サントリー美術館『歌舞伎座新開場記念展 歌舞伎—江戸の芝居小屋—』サントリー美術館, 2013年2月6日(水)~3月31日(日)
43. 村中亮夫「学会展望(2011年1月~12月)—数理・計量・地理情報—」人文地理, 64巻, 3号, pp. 227-229, 2012年6月28日
44. 矢野桂司「小・中・高教員向け地理情報システム(GIS)研修プログラム」地理, 58-3, pp. 25-27, 25 February

2013

45. 山崎綾哉, 増田哲朗, 深井寛修, 徐剛「フィールドスポーツにおける同期多カメラを用いた複数選手のチーム識別と背番号認識による実時間個人識別」, 精密工学会・画像応用技術専門委員会, サマーセミナー2012 テキスト, 21, 9.3-4, p59-62, 犬山館(犬山市), 2012年9月
46. 山村隼司, 深井寛修, 徐剛「マーカレス MR のためのステレオビデオシースルーHMD の自己位置姿勢推定」精密工学会・画像応用技術専門委員会サマーセミナー2012 テキスト, 21, 9.3-4, pp.29-32, 犬山館(犬山市), 2012年9月
47. 山本真紗子「描かれた大原女—時代による変化」『2011年度京都府地域力再生プロジェクト支援事業第一回大原女衣装調査報告』NPO法人古布保存会, pp.14~16, 2012年5月
48. 山本真紗子『科学研究費 若手B「明治大正期の欧米での日本人美術商の活動に関する調査」調査報告書』38p, 2013年3月
49. 山本真紗子, 並木誠士, 青木美保子, 山田由希代, 加茂瑞穂「文化学園大学・文化ファッション研究機構平成22~24年度服飾文化共同研究拠点採択公募研究課題『近代京都の着物図案に関する研究 調査報告』」141p, 2013年2月
50. Keiji Yano, 'GIS for disaster management of historical city, Kyoto', In Rohit Jigyasu and Vanicka Arora "Disaster Risk Management of Cultural Heritage in Urban Areas: A Training Guide", Research Center for Disaster Mitigation of Urban Cultural Heritage, pp.83-84, 2013

(書評)

1. 石上阿希「『浮世絵入門 恋する春画』」『論究』, 97号, pp.109-113, 2012年12月
2. 石上阿希「白倉敬彦『奇想の春画』」『週刊読書人』, 2977号, p.6, 2013年2月
3. 川嶋將生, 河内将芳著「祇園祭の中世」週刊京都民報, 2012年6月24日

(音源復刻)

1. 大西秀紀『二世豊竹古鞠太夫(山城少掾)伊賀越道中双六 岡崎の段』音源復刻, 日本コロムビア, CDCJ-37883-4, 2013年2月

以上